

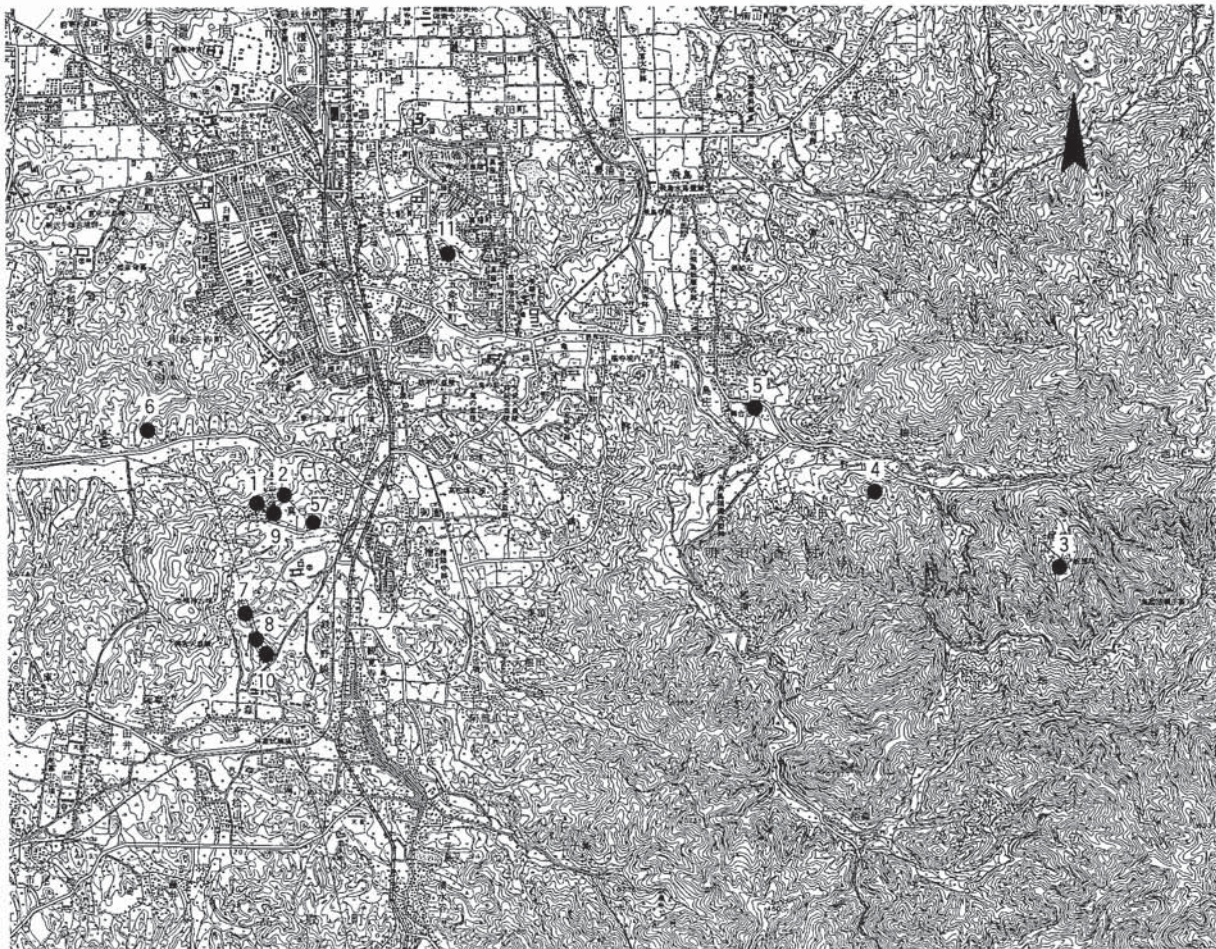
結晶片岩使用古墳研究序説

西光 慎治

I. はじめに

飛鳥地域の古墳や石造物、そして寺院や宮殿には多くの石材が使用されている。それらの多くは地元で産出される石英閃緑岩（通称、飛鳥石）や花崗岩等を用いているが、これら以外にも飛鳥では採石することのできない石材も多く用いられている。例えば二上山の凝灰岩や室生ダム北方で採れる流紋岩質溶結凝灰岩（通称、榛原石）は古墳の石棺や寺院の基壇等に使用されており、それぞれの用途に応じて使い分けが行われている。結晶片岩もその一つで石棺材や寺院の縁石、敷石などに使用されており、石材が流通していたことを裏付けている。

今回、結晶片岩という石材を通して、飛鳥地域や大和における結晶片岩使用古墳について整理・検討を行い、結晶片岩使用古墳の動向について考えてみたい。



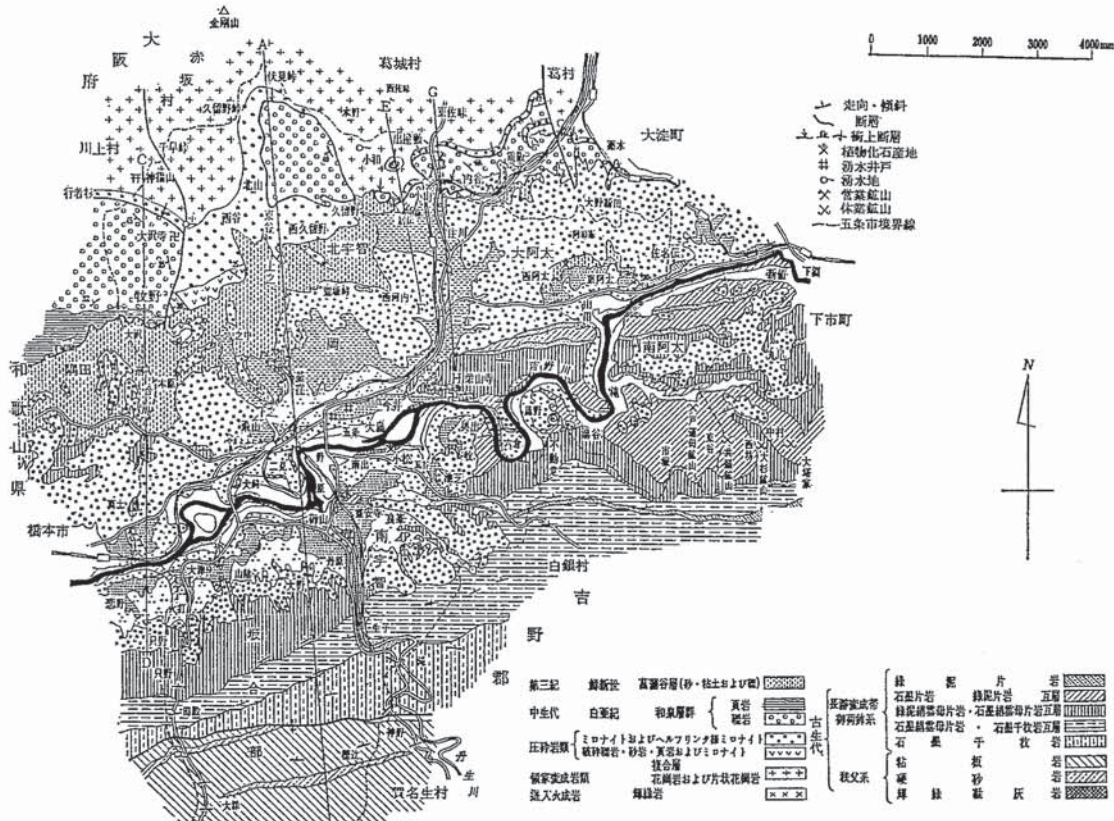
1、カヅマヤマ古墳 2、ミツツ古墳 3、堂ノ前塚古墳 4、戒成組田古墳 5、石舞台4号墳 6、ヲギタ2号墳
7、佐田1号墳 8、森カシタニ遺跡 9、マルコ山古墳 10、森カシタニ塚古墳 11、植山古墳 57、ドウヤマ古墳

第1図 飛鳥地域の結晶片岩使用古墳位置図（1：5000）

II、三波川変成帯（三波川結晶片岩）

白亜紀の広域変成作用のうち低温高压型の変成岩類は三波川変成帯に分布しており、三波川変成帯は領家変成帯と対の変成帯をなし、両者の境には高角断層の中央構造線が走っている。この三波川変成帯は白亜紀の三波川変成岩の変成作用をうけた岩石の内より、高压部分の変成岩の分布帯を指し、三波川変成岩は中央構造線に帯状に平行配列する三波川帯、御荷鉾帯、秩父帯の三つの亜帯からなる。三波川変成岩は泥質、砂質、塩基性、礫質、珪質（チャート質）、石灰質の片岩類からなり高角断層である中央構造線を境として領家帯と接している。御荷鉾帯変成岩は三波川帯と秩父帯の間に断続的にレンズ状岩体として存在し、玄武岩質溶岩、ガブロ、超マフィック岩及び碎屑岩類（砂岩・泥岩・角礫岩）からなる。秩父帯変成岩は泥岩、砂岩、層状チャート、石灰岩、緑色岩などから構成されている。

近畿地方の中央を走る中央構造線は内帯と外帯とを分かちあっている。内帯には火成岩は少なく、火山岩の熊野酸性岩が広い面積を占めている。外帯は帯状配列をしている北側から長瀬変成帯・秩父累帯、日高川地帯、牟婁地帯となっている。長瀬変成帯は三波川層と御荷鉾層から構成され中央構造線に平行して走っており、中央構造線に近くなるほど変成度が高くなっていく。変成度が高くなると結晶が粗粒になり、曹長石質斜長石の点紋を有する点紋片岩になる。つまり、点紋片岩帯が構造線に近い北側になるのに対して南側は無点紋片岩帯ということになる。紀伊半島を横断している長瀬変成帯（三波川変成帯）は北から点紋片岩帯、無点紋片岩帯、永峯帯の三帯に区分できる。分布については点紋片岩帯が西半に限られており、奈良県吉野郡東吉野村鷲家より東方には点紋帯はなく、無点紋の変成度の低い片岩や千枚岩の御荷鉾層となる（松下1975）。



第2図 五條市周辺の地質図（松下1975）

Ⅲ、飛鳥地域における結晶片岩使用古墳の概要

飛鳥地域の古墳には花崗岩や石英閃緑岩、凝灰岩といった石材が多く使用されているが吉野川流域で採石できる結晶片岩も石槨材などに使用されている。ここでは飛鳥地域に所在する結晶片岩使用古墳について概観したい。

【石 室】

1、カヅマヤマ古墳 高市郡明日香村大字真弓

大規模な盗掘により規模等については不明である。墳頂部には盗掘孔が存在しており、漆喰の付着した石墨片岩が散乱しており、石槨材の一部と考えられる。部分的に流紋岩質溶結凝灰岩（榛原石）も含まれている。築造年代は7世紀中頃と考えられる¹⁾。

2、ミヅツ古墳 高市郡明日香村大字真弓

墳形、規模については不明であるが、かつて地元で扁平な板石が採れることで「平石」と呼ばれる場所があり、板石を積み上げた磚積式石室が存在していたという。この板石は現在、地元の庭先や石垣などに転用されており、材質は吉野川流域で採石できる結晶片岩である²⁾。

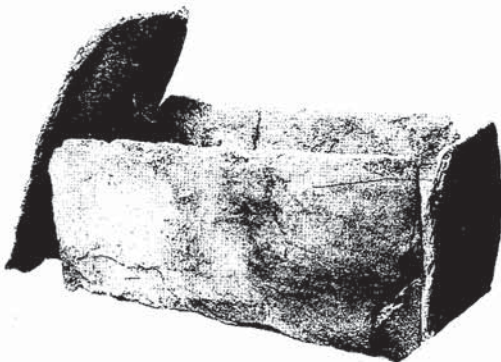
【石 槨】

3、堂ノ前塚古墳 高市郡明日香村大字尾曾

明治22年頃に発見された古墳で墳丘構造については不明である。埋葬施設は南に開口する復元長約7mの横穴式石室である。玄室内には長さ約1.5m、幅約0.9mの緑泥石片岩の箱式石槨が安置されている。石材は側石各1石、小口各1石、底・蓋石各1石の計6石から構成されている。石室内からは土師器・須恵器・馬具・鈴・鉄刀などが出土している。築造年代は6世紀後半～7世紀初である（西光2003）。

4、戒成組田古墳 高市郡明日香村大字阪田

直径約15m、高さ約2mの円墳である。石室は南に開口する横穴式石室で現状では玄室の一部が残存している。玄室内には結晶片岩の石槨が確認できる。石材は2枚残存しており、底石と側石の一部と考えられる。長さは約1.9mを測る。築造年代は6世紀後半頃と考えられる（西光2003）。



複製：三輪寺遺跡 石槨古墳 飛鳥吉野川流域 曾尾村市高市郡和歌山県

写真1 堂ノ前塚古墳出土石槨



写真2 カヅマヤマ古墳表採の板石（石墨片岩）

5、石舞台4号墳 高市郡明日香村大字島庄

一辺約10mの方墳で墳丘には外護列石が廻らされている。埋葬施設は南東に開口する左片袖の横穴式石室で玄室内には結晶片岩の箱式石棺が設置されている。石棺は内法長約1.7m、幅(北小口)約0.56m、(南小口)約0.4mを測る。石材は側石各2石、小口石各1石、底石2石、天井石2石から構成されている。石棺内からは須恵器、耳環などが出土している。築造年代は6世紀後半である(檀考研1976)。

6、ヲギタ2号墳 高市郡高取町大字与楽

直径25mの円墳で南に開口する全長4.7m以上の横穴式石室である。玄室には絹雲母石墨片岩の箱式石棺が安置されている。石棺は底石2石、左右側石2石、蓋石2石で構成されている。規模は内法の長さ1.97m、幅0.73m、高さ0.57mを測る。石室内からは須恵器・鉄器・ミニチュア炊飯具などが出土している。築造年代は6世紀末～7世紀初頭である(関川・ト部1987)。

7、佐田1号墳(狐塚古墳) 高市郡高取町大字佐田

直径12m、高さ2.5mの円墳である。埋葬施設は南に開口する玄室長2.8m、幅1.7mの右片袖式横穴式石室で大部分は石取りで破壊されている。玄室内には緑泥石片岩の箱式石棺がある。石棺材の大半は失われているが据付掘方から長さ1.8m、幅1mに復元できる(木場他1998)。

8、森カシタニ遺跡 高市郡高取町大字森

結晶片岩の組合せ式箱式石棺を直葬したものである。内法長さ0.95m、幅0.2m、深さ約0.25mを測る。石棺は側石3石(北側)・2石(南側)、両小口各1石、そして底石3石・蓋石2石から構成されており、小口と側石の一部に石英閃緑石等が使用されている。規模や立地などから改葬墓の可能性が高い。遺物等は出土していないが築造年代は6世紀後半～7世紀代であろう³⁾。

【各施設】

9、マルコ山古墳 高市郡明日香村大字真弓

丘陵の南側斜面に造られた対角長約24m、高さ約5mの二段築成の六角形墳である。埋葬施設は凝灰岩の切石を用いた横口式石槨である。墳丘の周囲には排水施設としてバラス敷の下に幅約0.4m、深さ約0.2mの暗渠排水溝が設けられている。このバラス敷の一部に点紋片岩や流紋岩質溶結凝灰岩が使用されている。築造年代は7世紀末～8世紀初である(明日香村教委2004・西光2004c)。

10、森カシ谷塚古墳 高市郡高取町大字森

丘陵の南側斜面をカットして築かれた直径約14mの円墳である。墳丘の大部分は削平されているが墳丘基底部分の版築は残存していた。基底部には十字形に長さ約14m、深さ約0.6mの暗渠排水溝が設けられている。溝内には拳大の川原石が充填されており、一部に結晶片岩が使用されている。築造年代は7世紀末である(高取町教委2002)。

11、植山古墳 奈良県橿原市五条野町

東西約40m、南北約32m、残存高約3～6mの長方形墳である。埋葬施設は東西に並列するように横穴式石室が造られている。西石室の床面と東西両石室の排水溝に緑泥石片岩が使用されている。墳丘周囲には幅約1m、厚さ約1.2mの排水施設があり、大量の緑泥石片岩が使用されている。築造年代は6世紀末～7世紀前半である(濱口2001・奥田2002)。

このように飛鳥地域では石棺6・その他3・石室2の計11基の古墳で使用が明らかとなってきた。今回は古墳以外の事例には触れていないが、例えば島庄遺跡では石組溝の一部にまた飛鳥寺では磚として使用されているなどその用途の広さが窺える。

IV、大和における結晶片岩使用古墳の概要

ここでは大和における主な結晶片岩使用古墳について概観したい。

【石室】

12、東殿塚古墳 奈良県天理市中山町

全長約150mの前方後円墳である。かつて後円部墳頂から紅簾石片岩の板石が表採されており、石槨材の一部と考えられている（奥田2002）。

13、燈籠山古墳 奈良県天理市中山町

全長約110mの前方後円墳である。墳丘は果樹園の改変が著しく残りが悪い。埋葬施設は後円部に紅簾石片岩や緑泥石片岩の板石が存在することから竪穴式石槨材と推定されている。過去に玉類・石釧・埴製枕等が出土している（伊達他1981・今尾1987）。

14、宮山古墳 奈良県御所市室

全長246mの三段築成の前方後円墳である。墳丘には埴輪や葺石が施されている。埋葬施設は後円部に造られた竪穴式石槨で全長5.5m、幅1.9m、高さ1.1mを測る。側石には絹雲母片岩・黒雲母片岩の割石を小口積みにしており、天井石は6石の凝灰岩切石で覆われている。石室内には竜山石製の長持形石棺が安置されており、中から玉類・鏡片・刀剣類・武具・石製品などが出土している。築造年代は4世紀末～5世紀初である（秋山他1959）。

15、猫塚古墳 奈良県五條市西河内町

一辺27m、高さ5mの二段築成の方墳で、墳丘上には葺石と埴輪が施されている。埋葬施設は墳丘中央に造られた竪穴式石槨で絹雲母片岩・石墨片岩が使用されている。石室長は5.17m、幅0.73～0.89m、高さ0.9～0.93mを測り、小口積みに割石を積み上げている。石室内からは埴製枕・漢式鏡・帯金具・剣・刀子・鉄鏃・金銅装蒙古鉢形眉庇付冑・短甲・挂甲・鏡・鎌等が出土している。築造年代は5世紀後半である（網干1962）。

16、今井1号墳 奈良県五條市今井町

全長31mの二段築成の前方後円墳である。墳丘には葺石と埴輪が施されている。埋葬施設は後円部に造られた2基の竪穴式石槨で絹雲母石墨片岩を小口積みにしている。石室内からは細線式獸帯鏡・鉄刀・瑪瑙製勾玉と管玉が前方部の土坑からは甲冑一式（鋌留短甲・衝角付冑・肩・頸甲）・鉄剣・鉄鏃が出土している。築造年代は5世紀後半である（藤井1984）。

17、南阿田大塚山古墳 奈良県五條市南阿田町

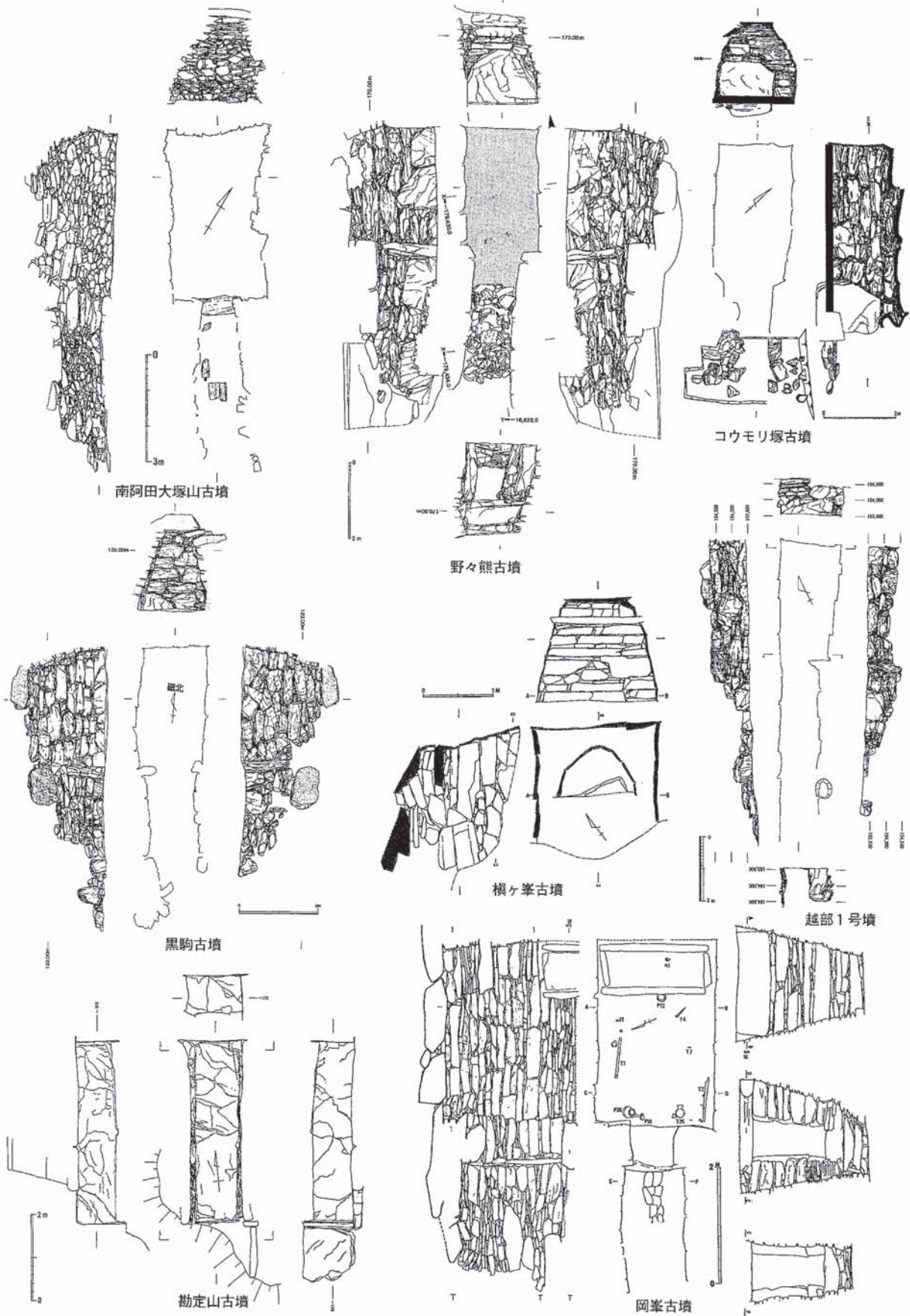
全長約30mの前方後円墳で後円部には主軸に直行する全長9.2mの両袖式横穴式石室が築かれている。石室材には緑泥石片岩が使用されている。石室内からは馬具一式・挂甲・鉄鏃・刀子・玉類・須恵器などが出土している。築造年代は6世紀前半である（泉森1982）。

18、コウモリ塚古墳 奈良県五條市滝町

直径15～16mの円墳で埋葬施設は緑泥石片岩を使用した両袖式の横穴式石室である。石室は全長約6.6m、玄室長5.1m、幅2mを測る。築造年代は7世紀前～中頃である（五條市役所1987）。

19、黒駒古墳 奈良県五條市黒駒町

直径約10m、高さ2m以上の円墳で南に開口する両袖式の横穴式石室である。石室は全長6.4mを測り、須恵器、鉄鏃、須恵質板状製品（陶棺？）などが出土している。石室材には緑泥石片岩が使用されている。築造年代は7世紀初めである（前坂2000）。



第3図 結晶片岩使用石室集成 (各文献から転載)

20、勘定山古墳 奈良県五條市西河内町

直径約17mの円墳で埋葬施設は結晶片岩を使用した横口式石槨である。石槨は奥壁1石、側石各1石、底石1石、天井石3石から構成されている。規模は内法で長さ2.1m、幅約0.7m、高さ約0.42mで羨道部は復元で長さ0.6m、幅0.82mを測る。羨道部の先端には結晶片岩を□の字形に囲んだ施設があり、この中に土器類が並べられていた。築造年代は7世紀中頃である(泉森1981)。

21、岡峯古墳 奈良県吉野郡下市町阿知賀

直径18m、高さ4.5mの円墳で墳丘には葺石が施されている。埋葬施設は西に開口する両袖式横穴式石室で全長約6mを測る。玄室には石棚が設けられており、その下には主軸に直行するように板石で囲んだ箱式石棺がある。この石棺には底石がなく、床面を掘り下げ磔を敷き詰めている。石室内からは須恵器・金銅装太刀、鉄製品などが出土している。石室、石棺の石材には泥質片岩・緑泥石片岩が使用されている。築造年代は6世紀中頃～後半である(小島他1977)。

22、野々熊古墳 奈良県吉野郡下市町阿知賀

直径約15mの円墳である。埋葬施設は全長7.38mの両袖式横穴式石室で石材は緑泥石片岩が使用されている。築造年代は6世紀後半～末である(岡林・平松2001)。

23、越部1号墳 奈良県吉野郡大淀町越部

直径24mの円墳で、埋葬施設は南西に開口する全長約8.3mの左片袖の横穴式石室である。石室内からは土師器・須恵器・鉄刀・鉄鏃・耳環・馬具などが出土している。石室材には緑泥石片岩が使用されている。築造年代は6世紀末～7世紀初頭である(河上他1997)。

24、越部2号墳 奈良県吉野郡大淀町越部

直径約16mの円墳で、埋葬施設は南東に開口する全長約4.8mの右片袖の横穴式石室である。玄門部には仕切り石があり、玄室内には2棺埋葬されていたものと考えられている。石室材には緑泥石片岩が使用されている。石室内からは土師器・須恵器・鉄刀・鉄鏃・耳環、馬具などが出土している。築造年代は6世紀末～7世紀初頭である(河上他1997)。

25、稲荷山古墳 奈良県吉野郡大淀町新野

墳丘規模は不明であるが円墳である。埋葬施設は西南に開口する全長約4mの右片袖式横穴式石室である。玄室は長さ約3m、幅約1.5m、高さ約2.5mで羨道長は約1m、幅約0.7mを測る。羨道は半壊しており後世に修復されている。出土遺物は不明である。築造年代は6世紀後半と考えられる(末永他1954)。

26、櫛ヶ峯古墳 奈良県吉野郡大淀町新野

直径約9m、高さ3mの円墳で南に開口する両袖式横穴式石室である。石室の南半は失われており全長1.7m以上を測る。奥壁には奥行0.7mの石棚が設けられている。築造年代は6世紀中頃と考えられる(小島・河上1977)。

27、北六田古墳 奈良県吉野郡大淀町北六田

墳丘の大部分は崩壊して規模は不明であるが円墳と考えられている。埋葬施設は南に開口する全長約10.8mの両袖式横穴式石室である。玄室は長さ3.88m、幅約2.2m、羨道長6.9m、幅0.8mを測る。石室材は結晶片岩を使用している。玄室には結晶片岩の箱式石棺が安置されている。石棺は左右側石各1石、両小口各1石で底石はなく、蓋石は失われている。規模は長さ2.12m、幅0.71m、高さ約0.55mを測る。石室内からは銅環座付鉄製鞍、銅環、元豊通寶が出土している。築造年代は6世紀後半頃と考えられる(高橋1918)。

28、六軒町古墳 奈良県吉野郡吉野町上市

規模は不明であるが円墳である。埋葬施設は南に開口する両袖式横穴式石室で羨道部は破壊されている。玄室は長さ約3.76m、幅約1.88m、高さ約2.6mを測る。玄室の天井石は3石架構されている。石室材は緑泥石片岩である。石室内からは土師器・須恵器・鉄釘・金環などが出土している⁴⁾。築造年代は6世紀後半である(上田1928)。

29、堂山古墳 奈良県吉野郡吉野町上市

墳丘規模は不明であるが円墳である。墳丘には葺石が施されている。埋葬施設は南に開口する全長6.6mの両袖式横穴式石室である。玄室長は約2.85m、幅約1.94m、高さ約2.5mで羨道部は長さ約3.76m、幅約1.06m、高さ約1.21mを測る。玄門部には門石の手法がみうけられる。石室材は緑泥石片岩である。築造年代は6世紀後半頃と考えられる(上田1928)。

30、林垣内古墳 奈良県吉野郡吉野町上市

墳形・規模は不明である。埋葬施設は南に開口する片袖式の横穴式石室である。玄室は長さ約2.73m、幅約1.36m、高さ約1.21m、羨道長は約1.09mを測る。出土遺物等は不明である。築造年代は6世紀後半と考えられる(上田1928)。

31、南国栖古墳 奈良県吉野郡吉野町南国栖

吉野川最上流に存在する古墳である。墳丘の規模・墳形については不明である。埋葬施設は緑泥石片岩を用いた片袖式の横穴式石室である。天井石は失われており、石室規模・出土遺物については明らかではない。築造年代は6世紀後半頃と考えられる(小島1965)。

【石 棺】

32、鴨山古墳 奈良県北葛城郡広陵町三吉

墳丘の規模は明らかでないが円墳と考えられる。埋葬施設は点紋片岩を組み合わせた箱式石棺を直葬している。石棺は底石1石、両側石各1石、両小口各1石、蓋石1石で構成されている。規模は内法長約2m、幅0.78~0.85mを測る。石棺内からは7体分の人骨と須恵器・玉類・鉄製品などが出土している。築造年代は6世紀後半と考えられる(末永1934・河上編2002)。

33、丸子山古墳 奈良県葛城市兵家

直径約34m、高さ約9mの円墳である。埋葬施設など詳細については不明であるが、過去に古墳から出土したとされる結晶片岩の板石が保管されている。石材は2片あり、ひとつは0.6m四方の正方形に近いもので厚さは0.05mを測る。もう一つは約0.8m×0.4mの長方形を呈しており、左右の長辺は当初の面である。これらの石材が当古墳から出土していたとなるとその用途は箱式石棺材か石室材の可能性が考えられる(伊藤1978)。

34、塚山古墳 奈良県五條市出屋敷町

一辺約25m、高さ約5mの方墳で外部施設として埴輪と葺石が施されている。埋葬施設は結晶片岩の箱式石棺を直葬したものである。石棺の規模は内法長さ1.75m、幅0.53~0.63mで北小口部分には副室があり、短甲や頸甲・工具類が納められている。棺内からは鹿角装剣、鹿角把刀子が出土している。築造年代は5世紀後半である(伊達1957)。

35、出屋敷3号墳 奈良県五條市出屋敷町

東西7.5m、南北5mの方墳で周囲には馬蹄形に周溝が巡る。埋葬施設は結晶片岩の箱式石棺を直葬している。石棺の大部分は失われており、掘付掘り方から長さ1.9m、幅0.7mに復元できる。北小口部分のみ1/3程度原位置を保っていた。築造年代は6世紀後半である⁵⁾。

36、近内鐘子塚古墳 奈良県五條市近内町

直径80m、高さ12.5mの二段築成の円墳である。周囲には空堀を巡らしている。外部施設として葺石と埴輪が確認されている。墳頂部には大きな盗掘孔が存在しており、そこからかつて結晶片岩の板石が出土していることから箱式石棺を直葬していたと考えられている。築造年代は5世紀前半である（五條市役所1987）。

37、西山古墳 奈良県五條市西河内町

一辺54m、高さ6.5mの二段築成の方墳で墳丘には葺石と埴輪が施されている。周囲には周濠を巡らしている。埋葬施設は明らかではないが墳丘上に結晶片岩の板石が存在することから箱式石棺を直葬していたと考えられている（五條市役所1987）。

38、西山1号墳 奈良県五條市住川町

一辺7mで周囲に幅0.4m、深さ0.2m前後の溝を巡らした方墳と考えられている。埋葬施設は緑泥石片岩の箱式石棺を直葬したもので規模は長さ1.7m、幅0.5mを測る。棺底には赤色顔料が塗布されていた。築造年代は6世紀中頃と考えられている（泉森1977）

39、住川古墳 奈良県五條市住川町

直径10m、高さ約2.5mの円墳で墳頂には砂質片岩の板碑（板塔婆）が存在している。長さ1.4m、幅0.44m、厚さ0.08mあり、表面には「南無阿弥陀仏」と刻まれている。埋葬施設は不明であるが板碑が石棺材の一部と推定されることから結晶片岩の箱式石棺を直葬していたと考えられている。板碑は現在、埋め戻されている。

40、新宮山古墳 奈良県御所市稲宿

直径約25mの円墳で前方後円墳の可能性も指摘されている。埋葬施設は東南に開口する両袖式横穴式石室で全長13.6mを測る。玄室には羨道側に凝灰岩の家形石棺と奥壁側に緑泥石片岩の組合せ式箱式石棺が安置されている。箱式石棺は現在、蓋石1石と左右の側石各1石が残存しており、長さ約2m、幅約0.9m、厚さ約0.08mを測る。築造年代は6世紀中頃と考えられる（河上1995）。

41、権現堂古墳 奈良県御所市樋野

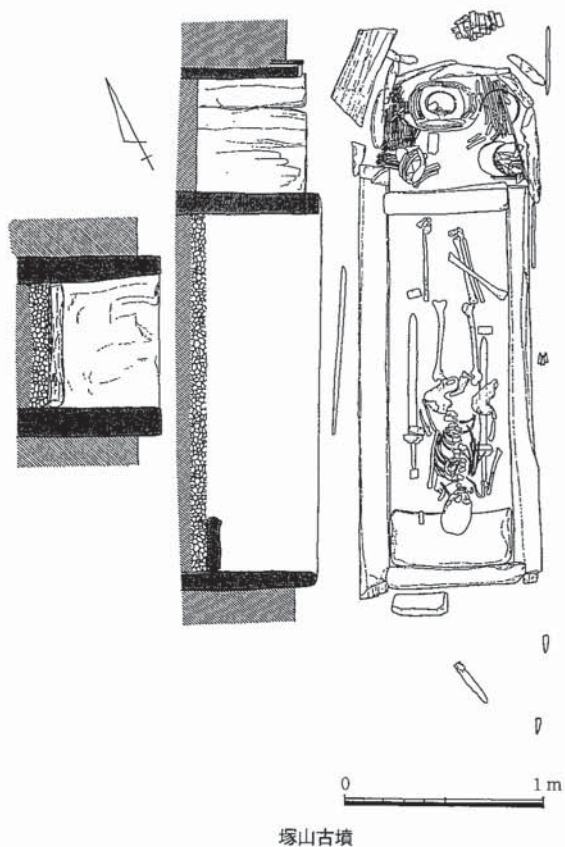
直径約25m以上の円墳である。石室は南東に開口する右片袖式横穴式石室である。石室は全長8.6m以上で奥壁部分が破壊されている。石室内には凝灰岩の家形石棺2基（内、1基推定）と玄門側に主軸に直行するように緑泥石片岩の箱式石棺が安置されていたと推定されている。石室内からは須恵器・挂甲小札・金銅製馬具・鉄鏃等が出土しており、築造年代は6世紀前半と考えられている（佐藤1916・河上1995）。

42、小殿1号墳 奈良県御所市小殿

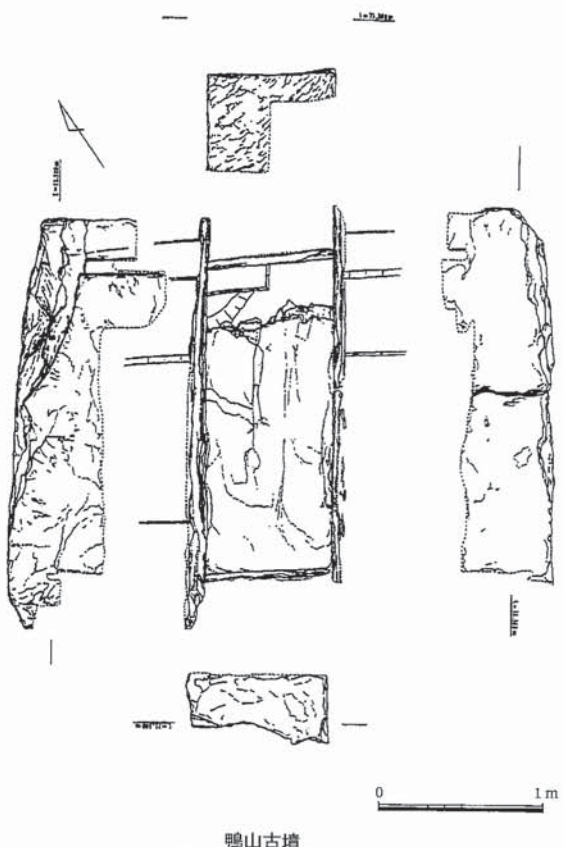
国道24号線の改良工事の際、偶然発見されたため墳形や規模については不明である。埋葬施設は絹雲母片岩の組合せ式箱式石棺が直葬されていた。出土遺物は土師器・須恵器・鉄釘などがある。築造年代は6世紀前半である（網干1960）。

43、大正池南（櫛羅）2号墳 奈良県御所市櫛羅

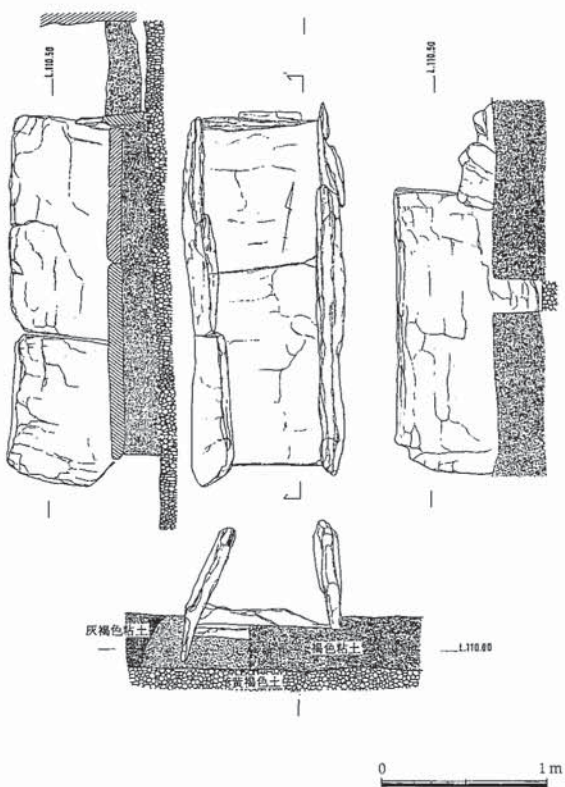
墳丘は削平などにより破壊され、規模や形態は不明である。埋葬施設は2つの石棺を直葬したもので片側の石棺に緑泥石片岩が使用されている。石棺は左右の側石と底石、蓋石から構成されており内法の長さ1.65m、幅0.37～0.41m、高さ0.28mを測る。石棺内からは2体分の人骨と金環、鉄釘などが出土している。築造年代は6世紀末頃と考えられる（網干1958）。



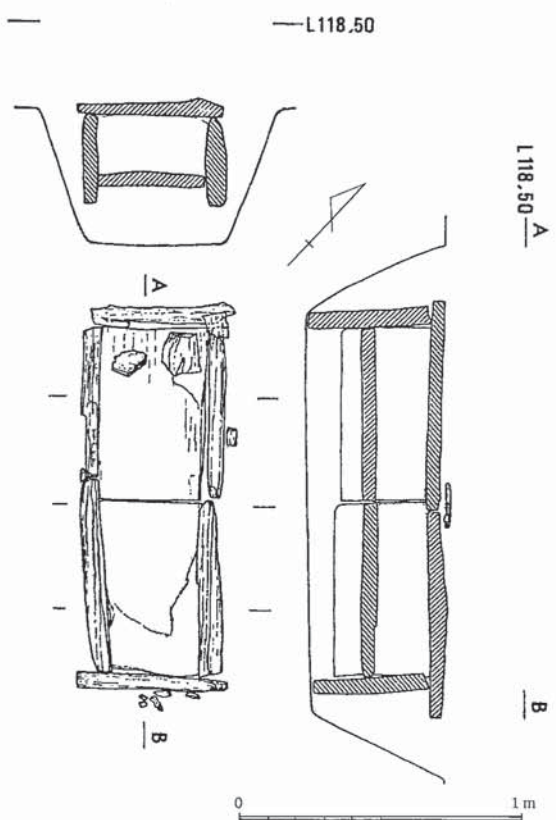
塚山古墳



鴨山古墳



ヲギタ2号墳



石光山22号墳 (埋葬施設3)

第4図 結晶片岩使用石棺集成 (各文献から転載)

44、吐田平2号墳 奈良県御所市森脇

直径16~18m、高さ2~4.5mの円墳である。埋葬施設は南に開口する全長約7mの右片袖式横穴式石室である。玄室の主軸よりやや西よりに緑泥石片岩の組合せ式箱式石棺が安置されている。石棺は西側石8石、東側石7石、両小口各2石、蓋石9石から構成されている。底石はなく床面に直接設置されている。規模は長さ2.03m、中央幅0.81m、高さ0.46mを測る。石棺の側石・蓋石には全面、朱が施されている。石棺内からは2体分の人骨と金環・琥珀製棗玉刀・直刀・刀子・鉄鏃が石室内からは土師器・須恵器・鉄鏃・鉄鎌・鉄斧・馬具などが出土している。羨道部にも追葬が行われている。築造年代は棺内の初葬が6世紀中頃、追葬が6世紀後半、羨道部の追葬が七世紀初頃と考えられる（網干1961）。

45、境谷1号墳 奈良県御所市西寺田

直径14.5mの円墳である。埋葬施設は盗掘等により破壊されていたが痕跡などから横穴式石室であることがわかる。周辺からは石室材とともに緑泥石片岩の板石2片が出土しており、石室材として使用されていたと考えられる。規模については不明である。築造年代は遺物が出土しておらず詳細は不明であるが6世紀後半代の古墳であろう（久野1974）。

46、石光山22号墳 奈良県御所市元町

直径約12m、高さ約1.5mの円墳で埋葬施設が三基存在する。その内、埋葬施設2と3に緑泥石片岩が使用されている。埋葬施設2は南に開口する全長1.75mの無袖式横穴式石室である。床面には拳大の川原石を敷き詰め、その上に緑泥石片岩の板石大小2石置かれていた。長さが0.83m、幅0.32~0.35mを測る。この板石の上に枕石として川原石が左右に並置されていた。

埋葬施設3は緑泥石片岩の組合せ式箱式石棺を直葬している。石棺は底石2石、左右側石各2石、両小口各1石、蓋石2石で構成されている。規模は内法長1.22m、幅0.4mで高さ0.18mを測る。石棺内には一体分の人骨が遺存していたが、人骨の配列から改葬墓であることがわかる。築造年代は6世紀中頃以降であろう（河上他1976）。

47、石光山49号墳 奈良県御所市元町

東西14m、南北14m、高さ2mの円墳状を呈した南に開口する左片袖式横穴式石室である。全長は6.9mを測る。玄室内には緑泥石片岩の組合せ式箱式石棺がある。現状では底石と側石の一部が残存する程度であるが復元すると底石2石、左右側石各2石、両小口各1石となる。規模は長さ1.67m、幅0.5m、高さ0.33m以上である。石室内からは土師器・須恵器・鉄製品などが出土している。築造年代は6世紀中頃~後半である（河上他1976）。

48、巨勢山22号墳 奈良県御所市朝町

直径約15mの円墳で、埋葬施設は盗掘による攪乱が著しかったが長軸3.7m、短軸1.8mの横穴式石室と考えられる。石棺は緑泥石片岩の箱式石棺で赤色顔料が塗布されている。石室内からは土師器・須恵器・銅芯金銅張耳環・銀製指輪・鉄鏃・鉄鎌・ガラス玉などが出土している。築造年代は6世紀後半である（木許1990）。

49、巨勢山156号墳 奈良県御所市朝町

東西12.5m、南北15mの円墳で埋葬施設は右片袖の横穴式石室である。現状では玄室長4.5m、幅1.8~2.3mを測る。石棺は石室の主軸に平行するように緑泥石片岩の箱式石棺が安置されている。石室内からは土師器・須恵器・刀・刀子・鉄鏃・鉾・馬具（鞍金具・雲珠・辻金具・責金具・留金具）・銀製空玉・琥珀製棗玉・ガラス小玉・滑石製白玉などが出土している。築造年代は6世紀後半である（藤田1898）。

50、巨勢山415号墳 奈良県御所市西寺田

直径約14m、高さ約1mの円墳である。埋葬施設は石材の抜き取り跡から横穴式石室であることがわかる。玄室の中央には緑泥石片岩の箱式石棺があり、大部分は失われていたが南小口部分が残存していた。石室内からは銀環や馬具、鉄滓などが出土している。築造年代は6世紀後半頃と考えられる（御所市教委2003）。

51、巨勢山473号墳 奈良県御所市室

471号墳の前方部のコーナー部分に造られた南に開口する右片袖式横穴式石室である。石室は破壊され、遺物はほとんど出土していない。石室内には緑泥石片岩の箱式石棺が安置されていた。築造年代は6世紀後半である（御所市教委2002）。

52、巨勢山598号墳 奈良県御所市室

直径約12mの円墳である。埋葬施設は盗掘等により破壊されているが石の抜き取り跡から7m以上の横穴式石室と考えられる。付近からは緑泥石片岩の破片が出土しており、箱式石棺が安置されていたものと考えられる（田中1984）。

53、石神古墳（大岩1号墳） 奈良県吉野郡大淀町大岩

直径22.5m、高さ約4.3mの円墳である。石室は南に開口する全長約10mの両袖式横穴式石室である。石室内からは結晶片岩の破片が出土していることから箱式石棺であったことがわかる。石棺の規模については玄室床面の砂利の範囲などから長さ約2.5m、幅約1.2mと推定される。石棺以外では鉄釘が出土していることから、木棺が追葬されていたことがわかる。出土遺物は須恵器、鉄釘、銅製品などがあり、築造年代は7世紀前半と考えられる（千賀1987）。

54、大岩3号墳 奈良県吉野郡大淀町大岩

緑泥石片岩の組合せ式箱式石棺を直葬したものである。石棺は東側石6石、西側石8石、底石6石から構成されている。規模は内法長2.5m、幅0.59～0.55mを測る。棺内から鞆尻金具と鉄釘が出土している。築造年代については不明である（千賀・山川他1987）。

【各施設】

55、つじの山古墳 奈良県五條市近内町

一辺52m、高さ8.5mの方墳で東側に造り出しを有している。墳丘には埴輪と葺石が施されている。葺石の一部には絹雲母石墨片岩が使用されている。築造年代は5世紀後半と考えられている（前坂1998）。

56、巨勢山323号墳 奈良県御所市西寺田

南北11.2m、東西14.8mの長方形墳である。埋葬施設は南に開口する横口式石槨で全長5.36m、奥室長2.1m、幅0.9m、高さ0.81m、前室・羨道長3.26m、幅1.45～1.55m、高さ1.17～1.27mを測る。石槨内からは土師器・須恵器・瓦器などが出土している。奥室入口の閉塞石（扉石）として緑色片岩が使用されている。築造年代は7世紀中頃と考えられる（御所市教委1987）

以上、大和における結晶片岩使用古墳について概観してきたが飛鳥地域を含め、現段階で56基の古墳で使用されていることが明らかとなった。結晶片岩使用古墳の内訳については石棺材が32例、石室材が23例、その他が6例という結果となった。今後の調査や管見に触れていない古墳の増加も予想されるが、概ね上記の傾向が大きく変わることはないものと考えている。

V、結晶片岩使用古墳の形態分類

ここでは結晶片岩使用の古墳についてそれぞれの属性について形態分類を行ってみたい。

【使用形態の分類】

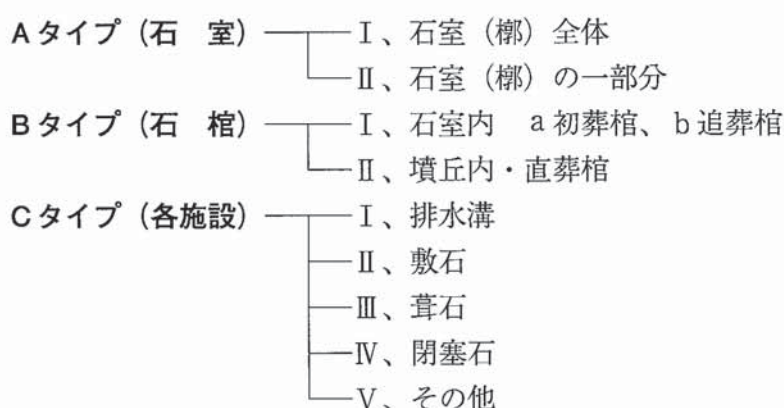
結晶片岩使用古墳については石室・石棺・各施設の三つのタイプに大別することができる。

Aタイプ 石室（槨）材として使用する古墳

Bタイプ 石棺材として使用する古墳

Cタイプ 各施設などに使用する古墳

更に各タイプを細分すると以下の通りである。



以上、使用形態から結晶片岩使用古墳を3タイプ9類に分類を行った。次に結晶片岩使用古墳の分布についてみていきたい。

VI、結晶片岩使用古墳の分布状況

大和において結晶片岩を石室や石棺材として使用した古墳は以下の6つの地域で密集した状況がみうけられる。以下、各地域の特徴についてみていきたい。

【各地域の特徴】

大和地域では東殿塚古墳や燈籠山古墳で結晶片岩が採集されており、竪穴式石槨材の一部に採用されたものと考えられるが不明な点も多く、今後周辺部の調査が進めば更に結晶片岩使用古墳が増える可能性が高い地域である。

飛鳥地域では堂ノ前塚古墳、戒成組田古墳、ヲギタ2号墳などで結晶片岩の箱式石棺が採用されている。その他ではカヅマヤマ古墳で横口式石槨材として植山古墳やマルコ山古墳では排水溝の石材に使用されるなど埋葬施設だけではなく各施設にまで結晶片岩が広く使用されている。この地域では古墳以外の宮殿や寺院などでも結晶片岩が使用されており、その用途は多岐にわたっている。

葛城地域では宮山古墳と巨勢山323号墳を除く、17古墳で石棺材として採用されている。葛城地域では結晶片岩は石棺材として大勢を占めているが、その大半が群集墳内の古墳に採用される点、注目される。

巨勢谷地域では結晶片岩使用古墳は4基ではあるが、大型の横穴式石室内に凝灰岩の削り貫き式家形石棺と共に埋葬されるなど、隣接する葛城地域のように群集墳内の古墳に採用されている例とは様相を大きく異にしている地域である。

近内地域では猫塚古墳と今井1号墳で竖穴式石槨材に近内鑑子塚古墳や西山古墳、塚山古墳などで石棺材として使用されている。この中で調査された塚山古墳は直葬された箱式石棺内から甲冑や鹿角装剣などが出土しており、また猫塚古墳では竖穴式石槨内から金銅装蒙古鉢形眉庇付冑や短甲、金銅装竜文透彫帯金具など韓半島との密接な交流を示す遺物が出土しており注目されている。塚山古墳は岩橋千塚古墳群の前山A17号墳と埋葬施設や副葬品など類似しており、また猫塚古墳の副葬品も同様、近内地域の古墳が紀ノ川流域を媒介として地域間交流の影響のもと形成されたものと考えられる。

吉野川流域では石室材として使用されている。結晶片岩はこの地域で産出されるもので石室材として多く用いられている。北六田古墳と岡峯古墳では石棺材にも結晶片岩を採用している。この流域に点在する古墳は少なからず岩橋型石室の影響を受けたものも多く、また石棺についても底石を有さない紀伊の箱式石棺の特徴を備えており石棺形態からも紀ノ川流域の文化圏と密接な地域間交流・影響のもと出現していることが窺える。

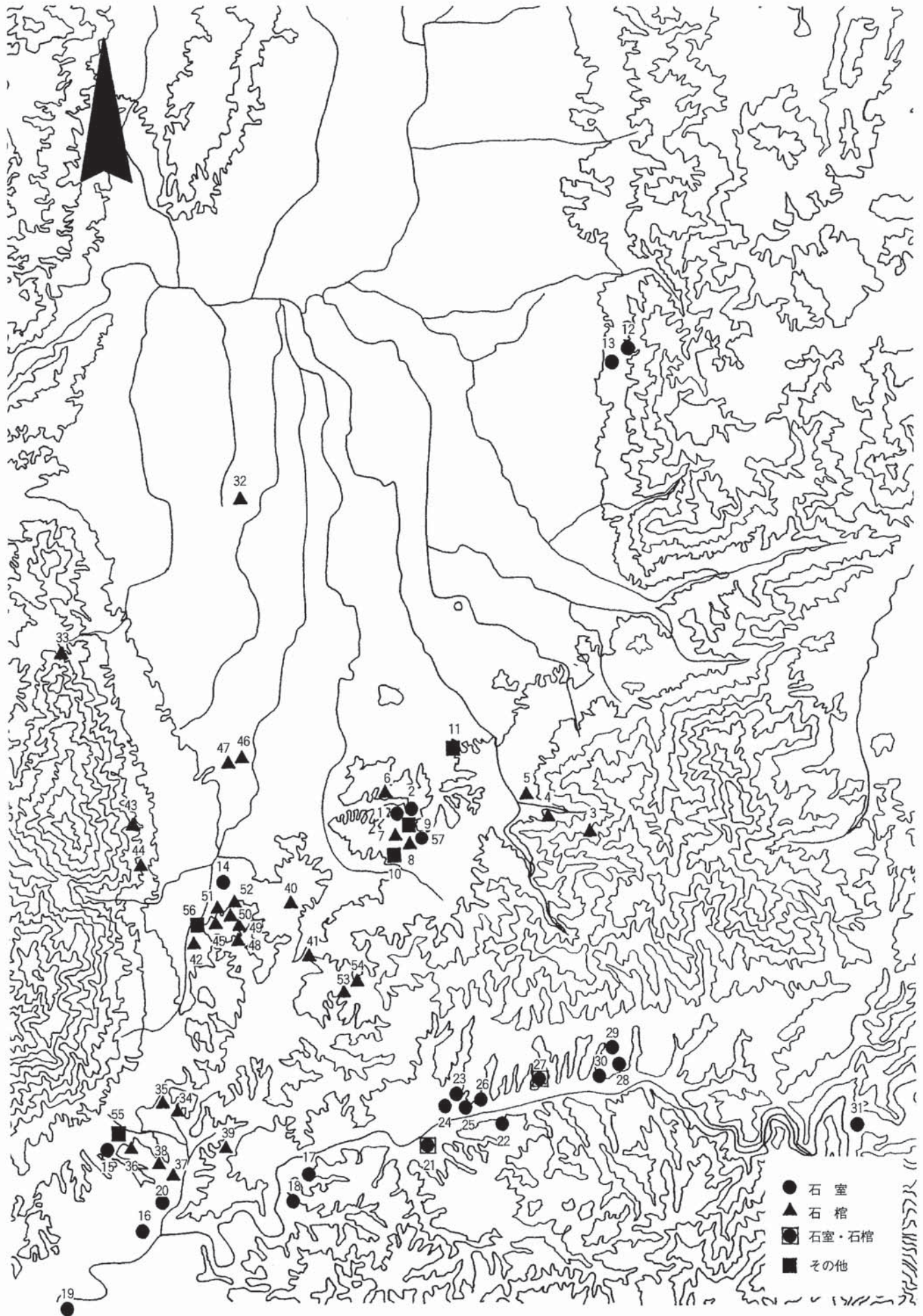
【結晶片岩使用古墳のタイプ毎の分布】

以上、各地域の特徴を概観したが各地域の主なタイプ別を記すと以下の通りとなる。

大和地域	Aタイプ?	巨勢谷地域	Bタイプ
飛鳥地域	Bタイプ	近内地域	Bタイプ
葛城地域	Bタイプ	吉野川流域	Aタイプ

上記をみると吉野川流域ではAタイプが、それ以外の地域ではBタイプが主流を成していることがわかる。これは吉野川流域が結晶片岩の採石地でもあることからAタイプが集中するものと考えられる。ただ注目されるのは吉野川流域では地元産の結晶片岩が豊富にあるにもかかわらず大半の古墳が木棺を採用しておりBタイプが非主流である点である。また流紋岩質溶結凝灰岩（以下、榛原石）の採石地である室生ダム周辺の古墳では豊富に石材があるにもかかわらず石室（石槨）材には使用されずに、主に石棺材として採用されている。このようにみえていくと地元で採れる石材だから石室や石棺材に使用するといったことではなく、埋葬施設を構成する石材の使用については何らかの制約があったものと考えられる。特に棺材については被葬者の生前の社会的職掌や地位に大きく左右されるものであり、結晶片岩使用古墳についても吉野川流域とその他の地域がAとBの二つのタイプに大きく分かれることはこういった社会的背景が反映されているためと考えられる。これは吉野川流域の古墳が下流域の紀ノ川流域の文化圏の影響を多分に受けて成立しているという点も考慮しなければならないであろう。

以上、結晶片岩使用地域を大きく6つの地域に分けてみてきたがその使用された地域が吉野川流域から約20kmの範囲を中心とした地域であることが明らかとなった。



第5図 大和における結晶片岩使用古墳分布図 (番号は表1に対応)

	古墳名	墳形	使用場所	石種	類型		古墳名	墳形	使用場所	石種	類型
1	カヅマヤマ古墳	方墳?	礎礎墳	石墨片岩	A-I	29	堂山古墳	円墳	横穴式石室	緑泥片岩	A-I
2	ミツツ古墳	-	礎礎墳	結晶片岩	A-I	30	林垣内古墳	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I
3	堂ノ前塚古墳	円墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-I a	31	南国栖古墳	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I
4	戒成組田古墳	円墳	箱式石棺	結晶片岩	B-I a	32	鴨山古墳	円墳	箱式石棺	点紋片岩	B-II
5	石舞台第4号墳	方墳	箱式石棺	結晶片岩	B-I a	33	丸子山古墳	円墳	箱式石棺?	結晶片岩	B-II?
6	ヲギタ2号墳	円墳	箱式石棺	絹雲母石墨片岩	B-I a	34	塚山古墳	方墳	箱式石棺	結晶片岩	B-II
7	佐田1号墳	円墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-I a	35	出屋敷3号墳	方墳	箱式石棺	結晶片岩	B-II
8	森カシタニ遺跡	-	箱式石棺	結晶片岩	B-II	36	近内鎌子塚古墳	円墳	箱式石棺	結晶片岩	B-II
9	マルコ山古墳	六角形墳	敷石	点紋片岩	C-II	37	西山古墳	方墳	箱式石棺	結晶片岩	B-II
10	森カシ谷塚古墳	円墳	暗渠排水溝	結晶片岩	C-I	38	西山1号墳	方墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-II
11	植山古墳	長方形墳	横穴式石室 暗渠排水溝 敷石	緑泥石片岩 緑泥石片岩 緑泥石片岩	A-II C-I C-II	39	住川古墳	円墳	箱式石棺	砂質片岩	B-II
12	東殿塚古墳	前方後円墳	竪穴式石槨	紅藤石片岩	A-II	40	新宮山古墳	円墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-I a
13	燈籠山古墳	前方後円墳	竪穴式石槨	紅藤石片岩	A-II	41	権現堂古墳	円墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-I b
14	宮山古墳	前方後円墳	竪穴式石槨	絹雲母片岩	A-I	42	小殿1号墳	-	箱式石棺	絹雲母片岩	B-II
15	猫塚古墳	方墳	竪穴式石槨	絹雲母片岩	A-I	43	大正池南2号墳	円墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-II
16	今井1号墳	前方後円墳	竪穴式石槨	絹雲母石墨片岩	A-I	44	吐田平2号墳	円墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-I a
17	南阿田大塚山古墳	前方後円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	45	境谷1号墳	円墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-II
18	コウモリ塚古墳	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	46	石光山22号墳 埋葬施設 2 埋葬施設 3	円墳 箱式石棺 箱式石棺	緑泥石片岩 緑泥石片岩	B-I a B-II	
19	黒駒古墳	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	47	石光山49号墳	円墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-I a
20	勘定山古墳	方墳	横口式石槨	結晶片岩	A-I	48	巨勢山22号墳	円墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-I a
21	岡峯古墳	円墳	横穴式石室 箱式石棺	緑泥石片岩 泥質片岩	A-I B-I a	49	巨勢山156号墳	円墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-I a
22	野々熊古墳	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	50	巨勢山415号墳	円墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-I a
23	越部1号墳	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	51	巨勢山473号墳	円墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-I a
24	越部2号墳	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	52	巨勢山598号墳	円墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-I a
25	稲荷山古墳	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	53	石神古墳	円墳	箱式石棺	結晶片岩	B-I a
26	檜ヶ峯古墳	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	54	大岩3号墳	円墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-II
27	北六田古墳	円墳	横穴式石室 箱式石棺	結晶片岩	A-I B-I a	55	つじの山古墳	方墳	葬石	絹雲母石墨片岩	C-III
28	六軒町古墳	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	56	巨勢山323号墳	方墳	閉塞石	緑色片岩	C-IV

表1 大和における結晶片岩使用古墳一覧表

Ⅶ、結晶片岩使用古墳の年代

ここでは結晶片岩が使用された古墳の年代を大きく4期にわけて整理したい。

【結晶片岩使用年代】

1期（4世紀中～5世紀初）

大和において結晶片岩が古墳の石材として使用が始まった時期にあたる。この時期は使用地域が盆地内に限られており、大和古墳群内や宮山古墳などの大型前方後円墳の石槨材として結晶片岩が使用されている。

2期（5世紀前半～6世紀初）

石槨材として採用され始めた時期である。石槨材については猫塚古墳や今井1号墳で引き続き採用されている。この時期には葺石などにも結晶片岩が使用されるようになる。

3期（6世紀前半～7世紀初）

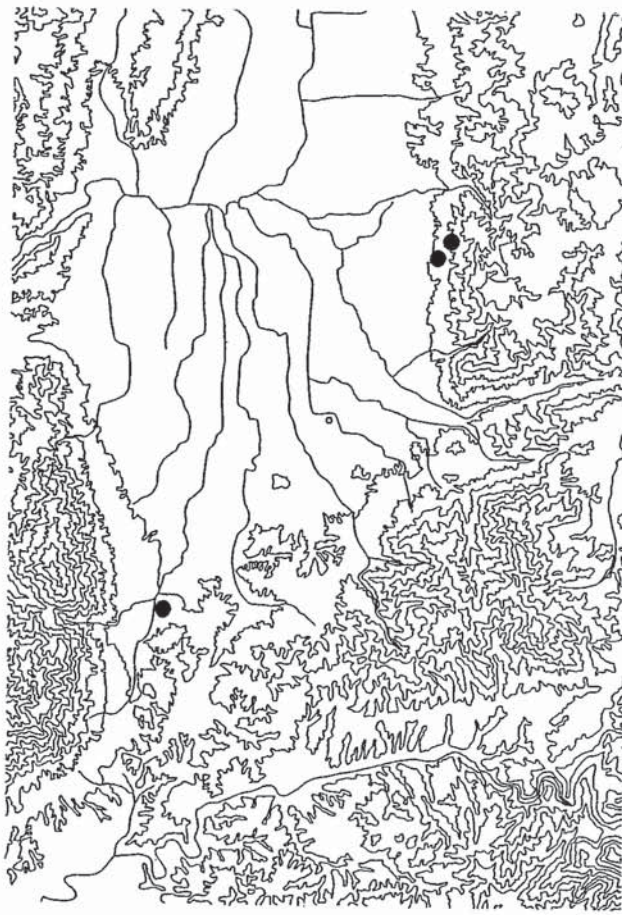
この時期は結晶片岩使用の最盛期にあたる。使用地域も吉野川流域、葛城、巨勢谷、飛鳥地域が中心で大半が石槨材として使用している。

4期（7世紀前半以降）

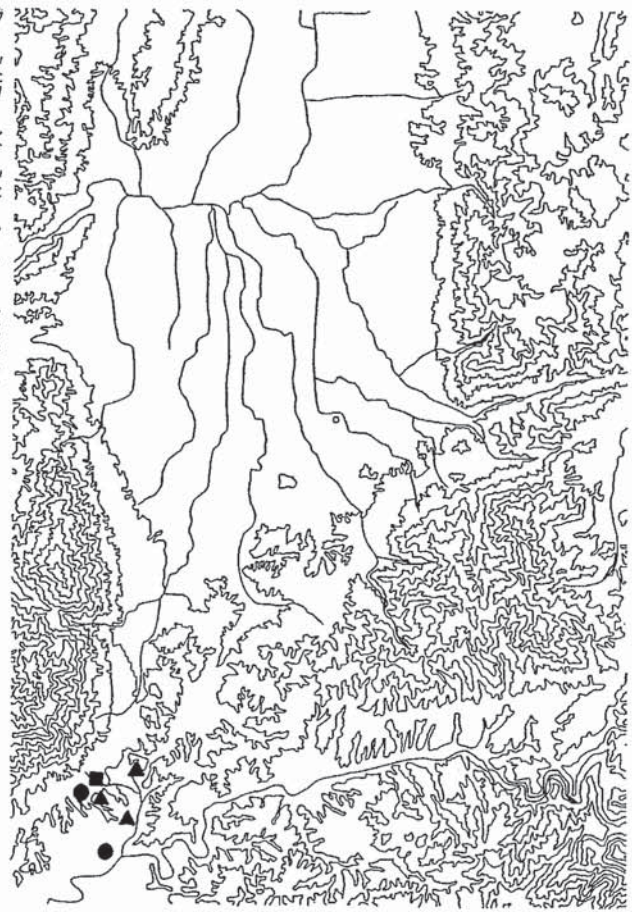
結晶片岩使用の衰退期にあたる。カヅマヤマ古墳や勘定山古墳などで石槨材として使用されたのを最後として、埋葬施設としての結晶片岩使用が終焉を向かえ、排水溝などの各施設での使用のみとなる。

	400	500	600	700
	TK73 TK216	TK208 TK23 TK47 MT15 TK10	TK43 TK209 TK217 TK46	TK48 MT15 飛鳥Ⅲ 飛鳥Ⅳ 飛鳥Ⅴ
石室	室大墓 今井1号墳 猫塚古墳	大塚山古墳 岡峯古墳 横ヶ峯古墳	越部1・2号墳 コウモリ塚古墳 野々熊古墳 駒塚古墳	勘定山古墳 カヅマヤマ古墳
石槨	鎌子塚古墳 塚山古墳	権現堂古墳 新宮山古墳 鴨山古墳 大正池南2号墳 小殿1号墳 石光山49号墳 吐田平2号墳 出屋敷3号墳 ヲギタ2号墳 石舞台4号墳 堂ノ前塚古墳	石神古墳	
その他		つじの山古墳	植山古墳	巨勢山323号墳 森カシタニ塚古墳 マルコ山古墳

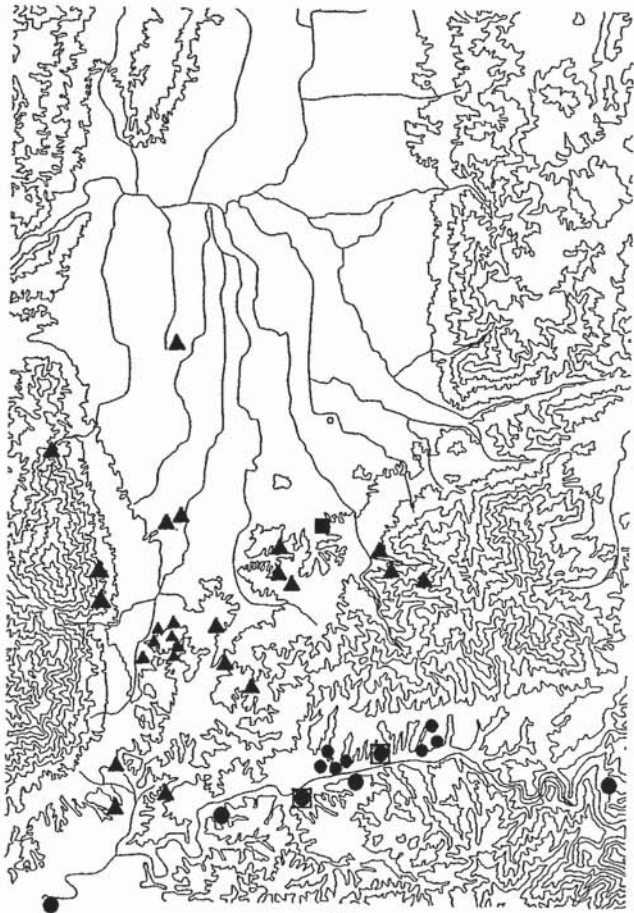
表2 結晶片岩使用古墳編年試案



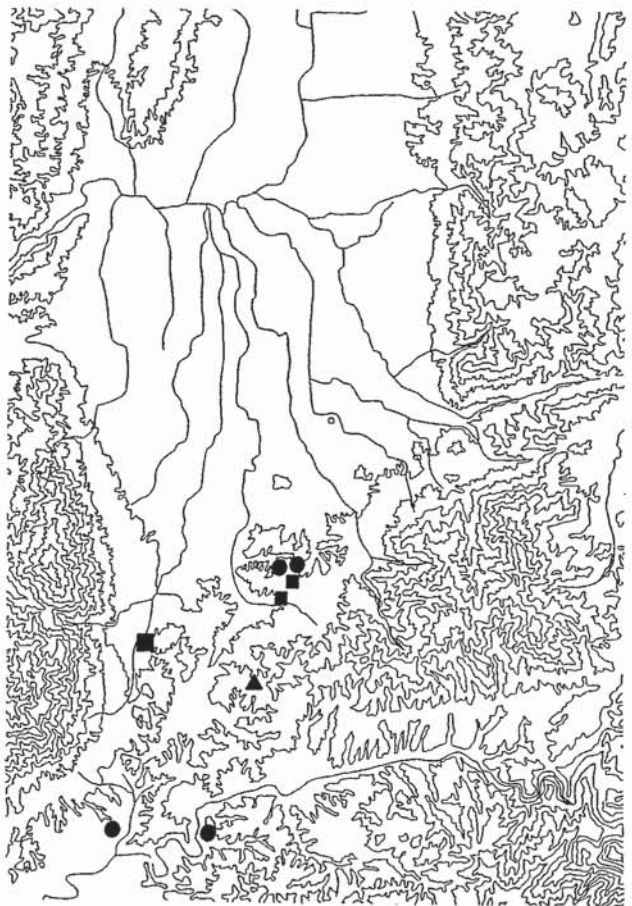
1 期



2 期



3 期



4 期

第 6 图 結晶片岩使用古墳変遷図

【使用年代と使用部材の傾向】

ここでは各期に使用された結晶片岩の使用傾向についてみていきたい。

〈石室材〉

石室材については1期～2期にかけて宮山古墳や今井1号墳、猫塚古墳で竪穴式石槨材として採用され、3期に入って横穴式石室材となり、4期になると横口式石槨の石材使用へと変遷していることがわかる。

〈石棺材〉

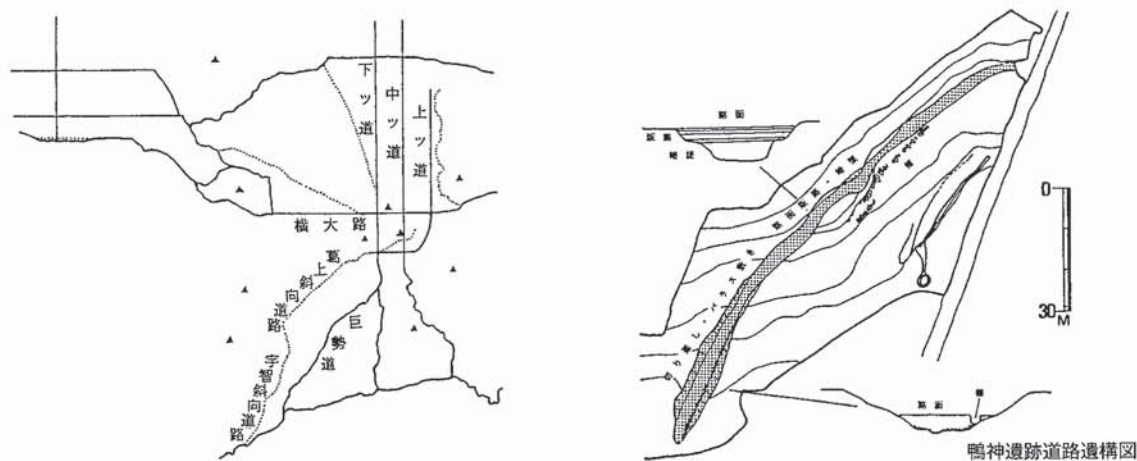
石棺材としては2期の段階で近内古墳群内の盟主墳である近内籬子塚古墳などで採用され始めその後、3期になると主に各地域の群集墳内で使用されるようになる。4期には石神古墳を最後として石棺材の使用は終息する。

〈各施設〉

墳丘外部施設などで2期の段階からつじの山古墳では葺石材として使用されており、3～4期にかけて石室内の敷石や石槨の扉石、そして暗渠排水溝の石材として使用されるようになる。使用される石材の量は新たに吉野川流域より採石したものを使用するといったものではなく、3期に持ち込まれた石材の一部を使用、転用するといった程度となる。

【各年代と幹線道開発】

第6図をみると分布地域が大勢的に2期の段階で近内地域だけであったものが、3期の段階には葛城、巨勢谷、飛鳥、吉野川流域へと拡大し、4期になると飛鳥・巨勢谷・吉野川流域と縮小していく。ここで注目したいことは3期の段階で爆発的に結晶片岩使用古墳が葛城・巨勢谷・飛鳥地域へと広がっていった背景にはやはり葛上・宇智斜行道（秋山1975）と巨勢路（紀路）の存在を重視しなければならない。葛上・宇智斜行道沿いの葛城地域では1期の宮山古墳で竪穴式石槨材として使用されていることから荒坂峠から出屋敷を経て風の森に峠へと至る葛上・宇智斜行道が遅くとも5世紀代には確立していたと考えられる。これは1期から3期にかけてその沿線に結晶片岩使用古墳やその他の遺跡が点在していることから窺える。一方、巨勢路（紀路）沿いの古墳は3期から4期にかけて展開しており、近内を経て重坂峠に入る巨勢路（紀路）は6世紀から7世紀にかけて本格的に整備されたものと考えられる。このようにみていくと大和における結晶片岩使用古墳の展開はこれら二つのルート開発と大きく関わっていたものと考えられる。



第7図 古代の道路網と道路遺構

Ⅷ、まとめ～結晶片岩使用古墳の動向～

今回、結晶片岩使用古墳について検討を行ってきた。ここでは結晶片岩使用古墳についてそれぞれの用途に応じて整理を行い、まとめとしたい。

【石 室】

石室材として結晶片岩が採用されているのは吉野川流域が主でその他、近内や飛鳥地域の一部で確認されている。吉野川流域では14基の古墳で結晶片岩が使用され石室が築かれている。これらの古墳の特徴として石室形態がいわゆる畿内型石室にもかかわらず玄門部の袖部分が扁平な板石を立てた例（野々熊古墳）や玄門部に敷居のように板石を主軸に直行させ玄室よりも羨道の方を高くする例（南阿田大塚山古墳・越部古墳）、そして石棚をもつ例（岡峯古墳・槇ヶ峯古墳）、また、底石を有さない石棺のある例（岡峯古墳・北六田古墳）など吉野川流域の石室は紀ノ川流域の文化圏の影響を少なからず受けて成立していることがわかる。その他では近内地域で猫塚古墳や勘定山古墳、飛鳥地域ではカヅマヤマ古墳やミヅツ古墳で石槨材として採用されている。

【石 棺】

＜群集墳内での様相＞

群集墳内の結晶片岩の使用は細川谷古墳群・巨勢山古墳群・吐田平古墳群・与楽古墳群などで確認されている。群集墳内の古墳では石室内に安置されている結晶片岩の箱式石棺は、現在10例確認されているが、すべての古墳で初葬棺（B-Iaタイプ）として埋葬されており、吐田平2号墳のように初葬棺に合葬される例はあるが追葬棺としての利用は現段階では確認されていない。配置場所については玄室中央・玄室奥・玄室袖部の大きく三つに分けることができる。

玄室中央に配置する例をみると細川谷古墳群の堂ノ前塚古墳や戒成組田古墳、石神古墳や佐田（狐塚）古墳が挙げられる。次に玄室奥の例は御所市の新宮山古墳がある。新宮山古墳は玄室の奥に結晶片岩の箱式石棺があり、手前には凝灰岩の刳り貫き式家形石棺が安置されている。袖部については玄室の袖部に配置されたものとしてヲギタ2号墳や石舞台4号墳がある。この場合、それぞれの空間には木棺などの追葬棺が設置される場合がある。これらの石棺は主軸に平行して設置されたものばかりで直行するものは確認されていない。

＜直葬墳での様相＞

これまで直葬された箱式石棺については12例確認されている。その中で詳細が不明な3例を除いた9例について検討していく。9例の分布をみるとこのうち近内地域で6例、残りは葛城地域の3例となる。この二つの地域の使用例を比較したい。

近内地域では塚山古墳や近内鐘子塚古墳、西山古墳などで確認されている。塚山古墳は箱式石棺を直葬したもので厚さ0.15m程度の結晶片岩の板石5石で構成されており棺内には朱彩が施され、壮年男性の人骨と鹿角装鉄剣や鹿角把刀子、副室からは甲冑一式と農具、釣針、土錘などが出土している。近内鐘子塚古墳は直径85m、高さ10m以上の大和でも最大級の円墳で近内古墳群の中心的な地位を占める古墳である。この古墳の埋葬施設について詳細は不明ながら墳丘裾に側石を嵌め込むように溝が彫られた結晶片岩があり、箱式石棺材が直葬されていたと考えられている。また近内鐘子塚古墳の東方にある西山古墳については一辺54m、高さ6.5mを測り、埋葬施設について詳細は明らかではないが、墳丘上にある結晶片岩の板石の存在から箱式石棺が使用されていたと考えられている。これらの古墳についてはどれも近内古墳群を構

成する上でも盟主墳的存在の古墳であり、結晶片岩箱式石棺が採用されている点は注目される。次に葛城地域の例についてみていく。葛城地域では鴨山古墳、大正池南（櫛羅）2号墳、石光山22号墳などが挙げられる。鴨山古墳は長さ約2m、幅0.78～0.85mの石棺内に成人男性3体、女性2体、小児2体の計7体が合葬されている。また大正池南2号墳についても石棺内に壮年女性1体と若年1体の計2体分の人骨が合葬されていた。石光山22号墳の埋葬施設3でも石棺内に高齢男性の1体分の人骨が検出されたが骨の配置が不自然な状態で置かれており、人為的にまた意図的に骨の移動が行われた改葬墓と考えられている。このように葛城地域の直葬されている箱式石棺については改葬や複数埋葬というように導入期（2期）の近内地域と展開期（3期）の葛城地域では同じ材質の箱式石棺であっても採用された背景や性格が大きく異なっていることがわかる。

＜独立墳での様相＞

独立墳では権現堂古墳と新宮山古墳で考えてみたい。この二つの古墳は巨勢谷に対峙するように築かれた古墳で互いに大型の横穴式石室を有している。石室内には複数の石棺が安置されており、権現堂古墳では凝灰岩（初葬棺）－凝灰岩（追葬棺）－結晶片岩（追葬棺）として、新宮山古墳では結晶片岩（初葬棺）－凝灰岩（追葬棺）という構成となっている。これらの古墳は巨勢谷の首長墓とされ、年代観から権現堂古墳の方が新宮山古墳の結晶片岩の箱式石棺よりも先行しており、棺の性格も追葬棺と初葬棺と異なっている。特に新宮山古墳の場合、追葬棺が凝灰岩の削り貫き家形石棺であるため判断し難いが、この地域の首長やそれに準じる人々の棺と考えられることから単に棺材で優劣をつけることはできず、被葬者の職掌や地域間との関わりの中で採用されたものと考えられる。これは同じ地域にある石神古墳では初葬棺として結晶片岩の箱式石棺があり、追葬棺が木棺というように他の盆地内の結晶片岩使用古墳と同じ傾向を示しているのとは対比的に巨勢谷の首長墓の結晶片岩の箱式石棺の使用形態は近内地域の様相と同じくしている点、注目される。これは結晶片岩の箱式石棺の導入が当初、首長墓の棺として採用されていることから巨勢谷の独立墳も同じ背景のもと首長墓の棺として採用されたものと考えている。

【各施設】

埋葬施設以外での利用については5世紀代につじの山古墳で葺石として使用されて以降、6世紀後半以降になると植山古墳やマルコ山古墳などで排水溝や石敷きの石材として採用されている。巨勢山323号墳では石槨内の奥室の扉石として使用されており、その利用形態は多岐にわたっている。植山古墳以外では使用されている結晶片岩の量が限られていることから新たに石材を採石してきたのではなく転用材として利用された程度に留まっていると考えられる。

以上、長々と結晶片岩使用古墳について整理・検討を行ってきたが筆者の力不足で結晶片岩の使用された社会的背景や被葬者論など残された課題は多く、まだまだ言い尽くせない点も多い。今回の小稿が結晶片岩使用古墳を考える上で今後、たたき台となってくれば幸いである。

皆様の忌憚なきご批判・ご意見を賜らんことを節に希望して筆をおきたい。

小稿を執筆するにあたり次の諸氏から有益なご助言を賜った。また資料収集にあたって便宜を図っていただいた。ご尽力を賜った各氏に感謝の意を表します。（五十音順、敬称略）

相原嘉之、網干善教、壱岐一哉、上田俊和、奥田 尚、川口修実、木場幸弘、澤井證信、澤井好美、関 真一、関川尚功、高橋幸治、篁園勝男、伊達宗泰、田中史生、前坂尚志

小稿は、五條市文化博物館夏期講座（平成11年8月1日）において口頭発表した内容を骨子として一部修正を加えたものである。

【追記】

脱稿後、明日香村大字真弓のドウヤマ古墳（57）の墳丘裾部で結晶片岩が表採されていることを知った。詳細については不明であるが石室材の一部（A-I?）とも考えられる。この真弓から佐田にかけての高取川左岸地域は結晶片岩使用古墳が数基確認されており今後、更に事例が増える可能性が高い地域である。

昨年の12月18日に文化財課埋蔵文化財室長納谷守幸氏の突然の訃報に接した。筆者は平成9年から明日香村役場に勤務して以来、公私にわたり大変お世話になった。平素は寡黙であった納谷さんもお酒が入ると冗舌でいろいろと楽しい話を窺ったことを思い出す。まだまだ教えていただきたいこともたくさんあったがそれもかなわない。小稿をご霊前に捧げ、ご冥福をお祈りしたい。合掌。

註

- 1) カツヤマ古墳については筆者らが測量調査を実施している。
- 2) ミツツ古墳については筆者が踏査を行い、また地元で聞き取り調査を実施している。詳細については別稿を用意している。
- 3) 木場幸弘氏、壱岐一哉氏（高取町教育委員会）からご教授を得た。
- 4) 澤井寺にて六軒町古墳出土遺物について実見・実測を行った。詳細については別稿を用意している。
- 5) 前坂尚志氏（五條市教育委員会）からご教授を得た。

参考・引用文献

- 秋山日出雄他1959『室大墓』奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告第18冊 奈良県教育委員会
- 秋山日出雄1975「日本古代の道路と一歩の制」『橿原考古学研究所論集』吉川弘文館
- 明日香村教育委員会2004「マルコ山古墳の調査」『明日香村発掘調査報告会資料』
- 網干善教1958「御所市櫛羅大正池第一号墳、第二号墳及び火葬墓」『奈良県文化財調査報告（埋蔵文化財編）』第二集 奈良県教育委員会
- 網干善教1960「御所市小殿古墳」『奈良県文化財調査報告書』第三集 奈良県教育委員会
- 網干善教1961「御所市森脇吐田平古墳群」『奈良県文化財調査報告（埋蔵文化財編）』第4集 奈良県教育委員会
- 網干善教1961「御所市小殿 第二号古墳」『奈良県文化財調査報告（埋蔵文化財編）』第4集 奈良県教育委員会
- 網干善教1962『五条猫塚古墳』奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告第20冊奈良県教育委員会
- 泉森 皎1977「近内遺跡発掘調査概報」『奈良県遺跡調査概報（第一分冊）1976年度』奈良県立橿原考古学研究所
- 泉森 皎1981「勘定山古墳発掘調査報告」『奈良県発掘調査概報（第一分冊）1979年度』奈良県立橿原考古学研究所
- 泉森 皎1982「五條市南阿田大塚山古墳発掘調査概報」『奈良県発掘調査概報第一分冊1981年度』奈良県立橿原考古学研究所
- 伊藤勇輔1978「丸子山古墳の調査」『北葛城郡当麻町兵家古墳群』奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告 第37冊 奈良県立橿原考古学研究所
- 今尾文昭1987「燈籠山古墳墳質枕にともなう棺一伝中山大塚古墳資料の再検討一」『考古学雑誌』第80巻第1号 日本考古学会
- 上田三平1928「奈良縣上市町の古墳」『考古学雑誌』第18巻第3号 考古学会
- 卜部行弘1987「五条市近内遺跡（西河内地区）発掘調査概報」『奈良県遺跡調査概報（第二分冊）1986年度』奈良県立橿原考古学研究所
- 卜部行弘2001「居伝瓜山遺跡第5次調査発掘調査概要報告」『奈良県遺跡調査概報（第二分冊）2000年度』 奈良県立橿原考古学研究所
- 近江俊秀編1993『鴨神遺跡』奈良県文化財調査報告書 第66集 奈良県立橿原考古学研究所

- 大淀町役場1973『大淀町史』 大淀町史編集委員会
- 岡林孝作・平松良雄2001「野々熊古墳」『大和を掘る』19 橿原考古学研究所附属博物館
- 奥田 尚1985「大和・河内における古墳の石室材」『古代学研究』108号 古代学研究会
- 奥田 尚2002『石の考古学』学生社
- 橿原考古学研究所1976『石舞台古墳及び周辺の発掘調査概要』
- 橿原考古学研究所附属博物館1993『吉野・紀ノ川悠久の流れ』特展図録 第41冊
- 河上邦彦1974「下市町岡峯古墳、大淀町横ヶ峯古墳」『奈良県の主要古墳Ⅱ 緑地保全と古墳保護に関する調査報告2』奈良県教育委員会
- 河上邦彦1995『後・終末期古墳の研究』雄山閣出版
- 河上邦彦・亀田 博他1976『葛城・石光山古墳群』奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告 第31冊 奈良県立橿原考古学研究所
- 河上邦彦・本村充保他1997『越部古墳』奈良県文化財調査報告書 第82集 奈良県立橿原考古学研究所
- 河上邦彦編2002『馬見古墳群の基礎資料』橿原考古学研究所研究成果 第5冊 奈良県立橿原考古学研究所
- 神庭 滋2003「葛城地域の箱式石棺について—葛城地域南部における古墳時代後期の一様相」『博古研究』第26号 博古研究会
- 木村敏雄・速水 格・吉田鎮男1994『日本の地質』東京大学出版会
- 木村芳一・小泉俊夫『奈良県史』第三巻 考古 奈良県史編集委員会 名著出版
- 木許 守1990「巨勢山古墳群」『大和を掘る』1989年度発掘調査速報展10 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
- 久野邦雄1974「境谷1号墳」『大和巨勢山古墳群（境谷支群）—昭和48年度発掘調査概報—』奈良県教育委員会
- 神戸市教育委員会1995『西求女塚古墳—第5・第7次発掘調査概報—』
- 小島俊次1965『奈良県の考古学』郷土考古学叢書1 吉川弘文館
- 小島俊次・河上邦彦1977『三里古墳付岡峯古墳』奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告 第33冊 奈良県立橿原考古学研究所
- 五條市役所1987『五條市史新修』五條市史編集委員会
- 五條市教育委員会2003「五條市指定史跡黒駒古墳」（現地説明板）
- 御所市教育委員会1987『巨勢山古墳群Ⅱ—御所市みどり台総合開発事業に伴う発掘調査Ⅰ』御所市文化財調査報告 第6集
- 御所市教育委員会2002『巨勢山古墳群確認調査—現地説明会資料—』
- 御所市教育委員会2002『巨勢山古墳群Ⅲ』御所市文化財調査報告書 第25集
- 木場幸弘他1998『佐田遺跡群Ⅱ』高取町文化財調査報告第19冊 高取町教育委員会
- 西光慎治2000「飛鳥地域の地域史研究（1）欽明天皇檜隈坂合陵陪家・カナヅカ古墳の覚書」『明日香村調査研究紀要』創刊号 明日香村教育委員会
- 西光慎治2001「飛鳥地域の地域史研究（2）石上山石」『花園大学考古学研究論叢』花園大学考古学研究室20周年記念論集刊行会
- 西光慎治2002「飛鳥地域の地域史研究（3）今城谷の合葬墓」『明日香村文化財調査研究紀要』第2号 明日香村教育委員会
- 西光慎治2003「飛鳥地域の地域史研究（4）細川谷古墳群・堂ノ前塚古墳誌」『明日香村文化財調査研究紀要』第3号 明日香村教育委員会
- 西光慎治2004a「大和の地域史研究（1）宮内庁陵墓参考地・帯解黄金塚古墳の沿革」『地域と古文化』地域と古文化刊行会
- 西光慎治2004b「撰河泉の地域史研究（1）殖生崗之古墳實見記」『堀田啓一先生古稀記念獻呈論文集』堀田啓一先生古稀記念獻呈論文集作成委員会
- 西光慎治2004c「マルコ山古墳の調査」『季刊明日香風』第93号（財）飛鳥保存財団
- 斎藤 忠1987『東アジア葬・墓制の研究』第一書房
- 佐藤小吉1916「権現堂古墳」『奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告』第3回 奈良縣
- 清水康二他2003「上5号墳」奈良県文化財調査報告書 第92集 奈良県立橿原考古学研究所
- 白石太郎1971「御所市新宮山古墳、御所市権現堂古墳」『奈良県の主要古墳Ⅰ 緑地保全と古墳保護に関する調査報告1』奈良県教育委員会
- 末永政雄1931「北宇智村近内古墳」『奈良縣史蹟名勝天然記念物調査抄報』第2輯 奈良縣教育委員会

- 末永政雄1934「北葛城郡馬見村大字三吉鴨山古墳調査報告」『奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告』12 奈良県教育委員会
- 末永政雄1941「南葛城郡葛城村西北窪 和田山古墳」『奈良県史蹟名勝天然記念物調査會抄報』第二輯 奈良縣
- 末永政雄1961「宇智郡北宇智村近内古墳」『奈良県史蹟名勝天然記念物調査會抄報』第2輯 奈良縣
- 末永政雄・小島俊次1954「吉野川流域の古文化について」『奈良縣綜合文化調査報告書 吉野川流域』奈良縣教育委員会
- 末永政雄1959「五条市近内の古墳」『奈良県史蹟名勝天然記念物調査抄報』第11輯 奈良県教育委員会
- 関川尚功・ト部行弘1987『与楽古墳群』奈良県文化財調査報告書 第56冊 奈良県立橿原考古学研究所
- 磚柳墳研究会1994『舞谷古墳群の研究』(財)由良大和古代文化研究協会
- 高市郡役所 1971「堂の前塚」『奈良縣高市郡古墳誌』名著出版
- 高槻市教育委員会2002『關鷄山古墳—第1次調査概要報告書—』
- 高取町教育委員会2002『森カシ谷塚古墳発掘調査資料』
- 高橋健自1918「吉野郡北六田の古墳」『奈良縣史蹟勝地調査會報告書』第六回 奈良縣
- 田中一廣1984「奈良県御所市巨勢山古墳群調査概要Ⅱ—分布調査及び條地区における発掘調査—」御所市埋藏文化財調査概報58-1 御所市教育委員会
- 伊達宗泰1957「塚山古墳」『奈良県埋藏文化財調査報告書』第1集 奈良県教育委員会
- 伊達宗泰他1981『磯城・磐余地域の前方後円墳』奈良県史蹟名勝天然記念物報告 第42冊 奈良県立橿原考古学研究所
- 千賀 久・山川 均他1987『大岩古墳群』奈良県文化財調査報告書 第57集 奈良県立橿原考古学研究所
- 土橋理子他2003『天理市ハミ塚古墳発掘調査報告書』奈良県文化財調査報告書 第102集 奈良県立橿原考古学研究所
- 徳島市教育委員会1981『古墳時代の徳島市—埋藏文化財資料展—』
- 西谷眞治1985『元稻荷古墳』西谷眞治先生還暦祝賀会
- 濱口和弘2001「植山古墳の調査」『かしはらの歴史をさぐる』9 橿原市千塚資料館
- 坂 靖1991「近内古墳群」奈良県文化財調査報告書第62集 奈良県立橿原考古学研究所
- 樋口隆康編1998『昭和28年椿井大塚山古墳発掘調査報告』京都府山城町埋藏文化財調査報告書 第20集 山城町役場
- 藤井利章1984「五條市今井1号墳」『奈良県遺跡調査概報1983年度』奈良県立橿原考古学研究所
- 藤田和尊編1987「奈良県御所市巨勢山古墳群Ⅱ」御所市文化財調査報告書 第6集 御所市教育委員会
- 藤田和尊1988「巨勢山古墳群」『大和を掘る』1980年度発掘調査速報展Ⅸ 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
- 藤田和尊編2003「奈良県御所市巨勢山古墳群Ⅲ」御所市文化財調査報告書 第25集 御所市教育委員会
- 藤田和尊2003「巨勢山古墳群確認調査(平成13年度)」『奈良県市町村埋藏文化財調査報告會資料』奈良県市町村埋藏文化財技術担当者連絡協議会
- 前坂尚志1998「つじの山古墳」『大和を掘る』16 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
- 前坂尚志2000「黒駒古墳」『大和を掘る』18 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
- 間壁忠彦1991「石材の流通」『古墳時代の研究5 生産と流通Ⅱ』雄山閣出版
- 松下 進1975『改訂版 近畿地方』朝倉書店
- 三木文雄1962「利包及び内谷組合式石棺の研究」『石井』徳島県教育委員会
- 向日市教育委員会『物集女車塚古墳』向日市埋藏文化財調査報告書 第23集
- 門田誠一1982「大和政権の交通の条件」『考古学と古代史』同志社大学考古学シリーズⅠ
- 山口大学人文学部考古学研究室1990『平尾城山古墳』山口大学人文学部考古学研究室研究報告 第6集
- 吉野町役場1972『吉野町史』上巻 吉野町史編集委員会

挿図出典

第1図：筆者作成。

第2図：松下1975より転載。

第3図：南阿田大塚山古墳（泉森1982）、野々熊古墳（岡林・平松2001）、コウモリ塚古墳（五條市1987）、黒駒古墳（五條市2003）、岡峯古墳・横ヶ峯古墳（河上1974）、越部1・2号墳（河上・本村1997）、勘定山古墳（泉森1981）より転載。

第4図：塚山古墳（伊達1957）、鴨山古墳（河上編2002）、ヲギタ2号墳（関川・卜部1987）、石光山22号墳（河上・亀田1976）より転載。

第5図：筆者作成。

第6図：筆者作成。

第7図：樞考研附博1993より転載。

表1：筆者作成。

写真1：西光2003より転載。

表2：筆者作成。

写真2：筆者撮影。

表3：筆者作成。

	古墳名	所在地	墳形	使用場所	石種	類型	文献
1	将軍山古墳	茨木市	前方後円墳	竪穴式石槨	緑泥石片岩他	A-II	小林1956、堅田1968
2	紫金山古墳	茨木市	前方後円墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-II	京都大文博1993
3	海北塚古墳	茨木市	円墳	箱式石槨	緑泥石片岩	B-I	梅原1917・1973
4	弁天山C1号墳	高槻市	前方後円墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-II	堅田他1967
5	鬮鷄山古墳	高槻市	前方後円墳	竪穴式石槨	緑泥石片岩	A-I	高槻市教委2002
6	牧野車塚古墳	枚方市	前方後円墳	葺石	緑泥石片岩他	C-III	枚方市文研会他2004
7	小倉東1号墳	枚方市	方墳	箱式石槨	緑泥石片岩	B-II	枚方市文研会他2004
8	楠葉古墳	枚方市	円墳	箱式石槨	緑泥石片岩	B-II	枚方市史編委会1968
9	森1号墳	交野市	前方後円墳	竪穴式石槨	緑泥石片岩	A-II	水野1983・奥田2002
10	鍋塚古墳	交野市	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩他	A-II	奥田2002
11	津堂城山古墳	藤井寺市	前方後円墳	竪穴式石槨	緑泥石片岩	A-II	梅原1920・奥田2003
12	松岳山古墳	柏原市	前方後円墳	竪穴式石槨	緑泥石片岩	A-II	奥田2003
13	茶臼塚古墳	柏原市	長方形墳	竪穴式石槨	紅簾石片岩	A-I	柏原市古文研1986
14	玉手山7号墳	柏原市	前方後円墳	-	緑泥石片岩他	A-II	柏原市教委2003
15	玉手山9号墳	柏原市	前方後円墳	竪穴式石槨	緑泥石片岩	A-II	柏原市教委2003
16	西求女塚古墳	神戸市	前方後円墳	竪穴式石槨	点紋片岩	A-II	神戸市教委1995
17	元稲荷古墳	向日市	前方後円墳	竪穴式石槨	緑泥石片岩	-	西谷1985
18	物集女車塚古墳	向日市	前方後円墳	横穴式石室	紅簾石片岩他	A-II	向日市教委1988
19	恵解山古墳	長岡京市	前方後円墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-II?	長岡京市埋文2003
20	平尾城山古墳	山城町	前方後円墳	葺石	結晶片岩	C-III	山口大人文考研室 1990
21	八幡宮古墳	橋本市	円墳	横穴式石室	綠色片岩他	A-I	河上1995
22	垂井古墳	橋本市	-	箱式石槨	緑泥石片岩	B-II	金谷・生地1955
23	陵山古墳	橋本市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	金谷1958
24	市脇1号墳	橋本市	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	金谷1955・田辺1969
25	市脇2号墳	橋本市	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	
26	真田古墳	九度山町	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩他	A-I	
27	八幡塚古墳	打田町	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	金谷1956・打田町役 場1980
28	竹房古墳	打田町	円墳	箱式石槨	緑泥石片岩他	B-II	
29	百合山1号墳	打田町	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I・C-I	打田町役場1980
30	百合山2号墳	打田町	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	森・田中1960
31	船戸箱山古墳	岩出町	長方形墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	和歌山県文研会1974
32	船戸山1号墳	岩出町	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	金谷1959
33	船戸山2号墳	岩出町	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
34	船戸山3号墳	岩出町	円墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-I	
35	船戸山6号墳	岩出町	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	吉田1975
36	三昧塚古墳	貴志川町	円墳	箱式石槨	結晶片岩	B-II	
37	高尾山1号墳	貴志川町	円墳	竪穴式石槨?	結晶片岩	A-I?	貴志川町1981
38	高尾山2号墳	貴志川町	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	和歌山大考研会1958
39	高尾山3号墳	貴志川町	円墳	竪穴式石槨	緑泥石片岩	A-I	
40	高尾山4号墳	貴志川町	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
41	北1号墳	貴志川町	円墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-I	
42	平池2号墳	貴志川町	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩他	A-I	紀北文研1949
43	丸山古墳	貴志川町	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	藤井2004
44				箱式石槨	緑泥石片岩他	B-II	和歌山大考研会1973

44	具束壺 1 号墳	貴志川町	円	墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-Ⅱ	大野1971
45	具束壺 2 号墳	貴志川町	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	貴志川町1981
46	具束壺 3 号墳	貴志川町	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	貴志川町1981
47	七ツ塚 1 号墳	貴志川町	円	墳	横穴式石室	雲母片岩	A-I	大野1971
48	七ツ塚 2 号墳	貴志川町	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
49	七ツ塚 8 号墳	貴志川町	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
50	園部円山古墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	C-V	大野・前田1989
51	寺山 2 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-Ⅱ	川端1956・上村1976
52	寺山 3 号墳	和歌山市	円	墳	閉塞石	結晶片岩	C-Ⅳ	
53	寺山 8 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-Ⅱ	
54	東国山 1 号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	緑泥石片岩	A-I	金谷1961a
55	東国山 2 号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	緑泥石片岩	A-I	
56	小倉 1 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	池上1956
57	小倉 8 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	
58	明楽 2 号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	緑泥石片岩	A-I	金谷1961b
					横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	
59	明楽 4 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	
60	明楽 5 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	
61	明楽 6 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	
62	鳴滝 1 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	和歌山県文研会1973、
63	鳴滝 5 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	樋口・吉本1966
64	鳴滝 9 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	大野1990
65	雨が谷 2 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	森1973
66	貴志古墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	前田2003
67	晒山 4 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	関西大考研室1972、
68	晒山10号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	大野・大野1978
69	木ノ本 1 号墳 (釜山古墳)	和歌山市	円	墳	箱式石槨?	紅簾石片岩	B-II	和歌山県1930、
70	木ノ本 2 号墳 (車駕之古址古墳)	和歌山市	前方後円墳		竖穴式石槨? 箱式石槨?	緑泥石片岩 緑泥石片岩	A-I? B-II?	同志社大考研室1989
					葺石	緑泥石片岩	C-Ⅲ	前田1993
71	茶白山古墳	和歌山市	円	墳	葺石	緑泥石片岩	C-Ⅲ	井馬1996
72	西庄 2 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	C-V	富加見他2003
73	西庄 4 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	C-V	富加見他2003
74	西庄 6 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	C-V	藤藪2002
75	磯の浦 3 号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨?	結晶片岩	A-I	丹野2003
76	和坂 1 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
77	和坂 2 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
78	前山 A 2 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	関西大考研室1967
79	前山 A 4 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	和歌山県1983
80	前山 A 7 号墳	和歌山市	円	墳	箱式石槨	結晶片岩	B-II	
81	前山 A 8 号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨 箱式石槨	結晶片岩 結晶片岩	A-I B-II	
82	前山 A 9 号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
83	前山 A 10 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
84	前山 A 11 号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
85	前山 A 13 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
86	前山 A 16 号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
87	前山 A 17 号墳	和歌山市	円	墳	箱式石槨	結晶片岩	A-I	
88	前山 A 18 号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	

89	前山A20号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
90	前山A21号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
91	前山A22号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
92	前山A23号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
93	前山A24号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
94	前山A25号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
95	前山A27号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
96	前山A32号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
97	前山A33号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
98	前山A38号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
99	前山A39号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
100	前山A43号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
101	前山A46号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
102	前山A47号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
103	前山A50号墳	和歌山市	円	墳	箱式石槨	結晶片岩	B-II	
104	前山A56号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
105	前山A57号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
106	前山A58号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
107	前山A67号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
108	前山A75号墳	和歌山市	円	墳	箱式石槨	結晶片岩	B-II	
109	前山A76号墳	和歌山市	円	墳	箱式石槨	結晶片岩	B-II	
110	前山A78号墳	和歌山市	-	墳	箱式石槨	結晶片岩	B-II	
111	前山A81号墳	和歌山市	円	墳	箱式石槨	結晶片岩	B-II	
112	前山A94号墳	和歌山市	円	墳	箱式石槨	結晶片岩	B-II	
113	前山A96号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
114	前山A100号墳	和歌山市	円	墳	箱式石槨	結晶片岩	B-II	
115	前山A101号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
116	前山A102号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
117	前山A103号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
118	前山A104号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
119	前山A108号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
120	前山A111号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
121	前山A114号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
122	前山A115号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
123	前山A120号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
124	前山A121号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
125	前山A122号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
126	前山A125号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
127	前山A129号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
128	前山A130号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
129	前山A134号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
130	天王塚古墳	和歌山市	前方後円墳	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I · C-I	関西大考研室1967
131	前山B1号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
132	前山B2号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
133	前山B3号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
134	前山B4号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
135	前山B5号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
136	前山B6号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
137	前山B7号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室?	結晶片岩	A-I?	
138	前山B9号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	

139	前山B10号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
140	前山B11号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
141	前山B14号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
142	前山B15号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
143	前山B16号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨?	結晶片岩	A-I?	
144	前山B17号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
145	前山B21号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
146	前山B22号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
147	前山B23号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
148	前山B25号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
149	前山B26号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
150	前山B30号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
151	前山B33号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨?	結晶片岩	A-I	
152	前山B36号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
153	前山B38号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
154	前山B39号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨?	結晶片岩	A-I?	
155	前山B40号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
156	前山B41号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
157	前山B42号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
158	前山B44号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
159	前山B45号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
160	前山B48号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
161	前山B49号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
162	前山B50号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
163	前山B53号墳 (將軍塚)	和歌山市	前方後円墳		横穴式石室	緑泥石片岩他	A-I・C-I	関西大教研室1967
164	前山B57号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
165	前山B59号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
166	前山B67号墳 (知事塚)	和歌山市	前方後円墳		竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	関西大教研室1967
					横穴式石室	結晶片岩	A-I	
167	前山B62号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
168	前山B63号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
169	前山B64号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
170	前山B65号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
171	前山B66号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
172	前山B68号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
173	前山B70号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨?	結晶片岩	A-I	
174	前山B71号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
175	前山B72号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
176	前山B73号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
177	前山B74号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
178	前山B75号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
179	前山B76号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
180	前山B77号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
181	前山B78号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
182	前山B79号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
183	前山B80号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
184	前山B81号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
185	前山B82号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
186	前山B83号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	

187	前山B85号墳	和歌山市	円	墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-I	
188					横穴式石室	結晶片岩	A-I	
189	前山B86号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
190	前山B87号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
191	前山B88号墳	和歌山市	円	墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-I	
192	前山B89号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
193	前山B90号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
194	前山B91号墳	和歌山市	円	墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-I	
195	前山B92号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
196	前山B93号墳	和歌山市	円	墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-I	
197	前山B94号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
198	前山B95号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室?	結晶片岩	A-I?	
199	前山B96号墳	和歌山市	円	墳	竪穴式石槨?	結晶片岩	A-I?	
200	前山B97号墳	和歌山市	円	墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-I	
201	前山B98号墳	和歌山市	円	墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-I	
202	前山B99号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
203	前山B101号墳	和歌山市	円	墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-I	関西大考研室1967
					横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	
204	前山B102号墳	和歌山市	円	墳	竪穴式石槨?	結晶片岩	A-I・C-I	
					横穴式石室	結晶片岩	A-I	
205	前山B103号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
206	前山B105号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
207	前山B106号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
208	前山B107号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
209	前山B109号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
210	前山B110号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
211	前山B111号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
212	前山B112号墳 (郡長塚)	和歌山市	前方後円墳	墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I・C-I	関西大考研室1967
213	前山B113号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
214	前山B114号墳	和歌山市	円	墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-I	
215	前山B115号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
216	前山B116号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
217	前山B117号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
218	前山B118号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
219	前山B120号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
220	前山B122号墳	和歌山市	円	墳	竪穴式石槨?	結晶片岩	A-I	
221	前山B123号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
222	前山B124号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
223	前山B125号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
224	前山B127号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
225	前山B128号墳	和歌山市	円	墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-I	
226	前山B129号墳	和歌山市	円	墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-I	
227	前山B130号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	緑泥石片岩他	A-I	関西大考研室1967
228	前山B131号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	角閃緑簾片岩	A-I	関西大考研室1967
229	前山B132号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
230	前山B133号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
231	前山B134号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	関西大考研室1967
232	前山B135号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
233	前山B136号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	

234	前山B137号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
235	前山B138号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
236	前山B143号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
237	前山B144号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
238	前山B145号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
239	前山B146号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
240	前山B148号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
241	前山B149号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
242	前山B150号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
243	前山B151号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
244	前山B152号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
245	前山B153号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
246	前山B154号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
247	前山B155号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
248	前山B156号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
249	前山B161号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
250	前山B162号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
251	前山B163号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
252	前山B164号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
253	前山B167号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
254	前山B169号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
255	前山B170号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
256	前山B172号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
257	前山B173号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
258	前山B174号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
259	前山B176号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
260	前山B178号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
261	前山B179号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
262	前山B190号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
263	前山B191号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
264	前山B192号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
265	前山B193号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
266	前山B194号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
267	前山B195号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
268	前山B196号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
269	前山B197号墳	和歌山市	円	墳	—	結晶片岩	—	関西大考研室1967
270	前山B198号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
271	前山B199号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
272	前山B200号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
273	前山B201号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
274	前山B203号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
275	前山B204号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
276	前山B205号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
277	前山B206号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
278	前山B211号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨?	結晶片岩	A-I	
279	前山B212号墳	和歌山市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
280	前山B213号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
281	前山B214号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
282	前山B215号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
283	前山BK-4号墳	和歌山市	円	墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	

284	花山 6 号墳	和歌山市	前方後円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	羯磨1964・花山古墳 緊急調査団1964・関 西大考研室1967
285	花山 9 号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	絹雲母片岩他	A-I・C-I	
286	花山10号墳	和歌山市	前方後円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
287	花山11号墳	和歌山市	円 墳	竖穴式石槨	結晶片岩?	A-I	
288	花山14号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	
289	花山15号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
290	花山 1 6号墳	和歌山市	—	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I?	
291	花山17号墳	和歌山市	—	竖穴式石槨	結晶片岩	A-1?	
292	花山33号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
293	花山34号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
294	花山35号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
295	花山36号墳	和歌山市	前方後円墳	竖穴式石槨?	結晶片岩	A-I	
296	大谷山 3 号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
297	大谷山 4 号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
298	大谷山 5 号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
299	大谷山 6 号墳	和歌山市	前方後円墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
				横穴式石室	結晶片岩	A-I	
				箱式石棺	結晶片岩	B-II	
300	大谷山16号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
301	大谷山21号墳	和歌山市	円 墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
302	大谷山22号墳	和歌山市	前方後円墳	横穴式石室	緑泥石片岩他	A-I・C-I	
303	大谷山27号墳	和歌山市	前方後円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	
304	大谷山28号墳	和歌山市	前方後円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	
305	大谷山35号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
306	大谷山39号墳	和歌山市	円 墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-II	
307	大日山 2 号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
308	大日山 7 号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
309	大日山 8 号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
310	大日山12号墳	和歌山市	円 墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
311	大日山15号墳	和歌山市	円 墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
312	大日山18号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
313	大日山23号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室?	結晶片岩	A-I?	
314	大日山25号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
315	大日山35号墳	和歌山市	前方後円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
316	大日山38号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
317	大日山39号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
318	大日山43号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
319	大日山50号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
320	大日山52号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
321	大日山57号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
322	大日山58号墳	和歌山市	円 墳	竖穴系横穴式 石室	結晶片岩	A-I	
323	大日山59号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
324	大日山61号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
325	大日山66号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
326	大日山70号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
327	大日山71号墳	和歌山市	円 墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	
328	寺内 6 号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
329	寺内17号墳	和歌山市	円 墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	

330	寺内18号墳	和歌山市	前方後円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	関西大考研室1967
331	寺内22号墳	和歌山市	円墳	竖穴式石槨 組合せ式石槨	結晶片岩 結晶片岩	A-I B-II	武内・藤井2000
332	寺内23号墳	和歌山市	円墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	武内・藤井2000
333	寺内28号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
334	寺内32号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	関西大考研室1967
335	寺内34号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	関西大考研室1967
336	寺内35号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室 箱式石槨	結晶片岩 結晶片岩	A-I・C-I B-II	
337	寺内36号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
338	寺内48号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
339	寺内49号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
340	寺内50号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
341	寺内56号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
342	寺内57号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
343	寺内59号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
344	寺内60号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	
345	寺内63号墳	和歌山市	円墳	葺石	結晶片岩	C-III	
346	寺内4地点	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	和歌山市文体団1996
347	寺内6地点	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	和歌山市文体団1996
348	寺内11地点	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	和歌山市文体団1996
349	寺内14地点	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	和歌山市文体団1996
350	寺内20地点	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	和歌山市文体団1996
351	寺内21地点	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	和歌山市文体団1996
352	井辺1号墳	和歌山市	方墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	関西大考研室1967
353	井辺12号墳	和歌山市	方墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
354	井辺17号墳	和歌山市	方墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
355	井辺前山6号墳	和歌山市	前方後円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	植田1965
356	井辺前山14号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	和歌山県教委1987
357	井辺前山26号墳	和歌山市	前方後円墳	竖穴式石槨	結晶片岩	A-I	武内・藤井2000
358	井辺前山32号墳	和歌山市	円墳	竖穴式石槨 横穴式石室	結晶片岩 結晶片岩	A-I A-I	
359	井辺前山36号墳	和歌山市	-	竖穴式石槨	結晶片岩	A-II	
360	井辺前山37号墳	和歌山市	円墳	箱式石槨	結晶片岩	B-II	関西大考研室1967
361	井辺前山56号墳	和歌山市	円墳?	箱式石槨	結晶片岩	B-II	和歌山県教委1987
362	山東19号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	関西大考研室1967
363	山東22号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	武内1992
364	教明寺第I号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	和歌山県教委1970
365	伊太祈曾神社1号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	和歌山大考研会1974
366	薬勝寺南山1号墳	和歌山市	円墳	箱式石槨	緑泥石片岩	B-II	小賀・藤井1973
367	薬勝寺南山2号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I・C-I	藤丸1973
368	関戸古墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	緑色片岩	A-I	和歌山市教委1978
369	城ノ前1号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	和歌山市文体団1997
370	和佐7号墳	和歌山市	円墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
371	多田北山1号墳	海南市	円墳	-	緑泥石片岩	-	海南市役所1978
372	多田北山3号墳	海南市	円墳	竖穴式石槨	緑泥石片岩	A-I	
373	山崎山1号墳	海南市	円墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I・C-I	羯磨1971
374	山崎山2号墳	海南市	円墳	割石積み遺構 箱式石槨	緑泥石片岩 緑泥石片岩	- B-II	和歌山県文研会1978
375	山崎山5号墳	海南市	前方後円墳	礫槨	結晶片岩	-	

376	山崎山8-II号墳	海南市	円	墳	箱式石棺	結晶片岩	B-II	和歌山県文研会1979
377	山崎山11号墳	海南市	円	墳	竪穴式石槨	緑泥石片岩	A-I	
378	山崎山13号墳	海南市	円	墳	竪穴式石槨	緑泥石片岩	A-I	
379	山崎山14号墳	海南市	円	墳	竪穴式石槨	緑泥石片岩	A-I	
380	山崎山15号墳	海南市	円	墳	木棺直葬(墓 墳内に敷石)	緑泥石片岩	-	
381	室山1号墳	海南市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	中尾1968
382	室山2号墳	海南市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	
383	室山4号墳	海南市	円	墳	竪穴式石槨	結晶片岩	A-I	羯磨・中尾1962
384	室山5号墳	海南市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	
385	柿本神社古墳	海南市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	前田他1999
386	奥谷古墳	海南市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	海南市役所1978
387	坂東山1号墳	海南市	円	墳	横穴式石室	緑色片岩	A-I	前田他1999
388	女良古墳	下津町	円	墳	横穴式石室	緑色片岩	A-I	下津町役場1974
389	馬瀬1号墳	下津町	円	墳	横穴式石室	緑色片岩	A-I	羯磨1960
390	馬瀬2号墳	下津町	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I	
391	宮原古墳	有田市	円	墳	横穴式石室	結晶片岩	A-I・C-I	有田市教委1979
392	一本松古墳	有田市	円	墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	有田市教委1979
393	箕島1号墳	有田市	-	墳	横穴式石室	緑泥石片岩	A-I	有田市役所1974
394	椒浜2号墳	有田市	-	墳	箱式石棺	結晶片岩	B-II	有田市役所1974、初 島町教委1962
395	椒浜5号墳	有田市	-	墳	箱式石棺	結晶片岩	B-II	
396	椒浜8号墳	有田市	-	墳	箱式石棺	結晶片岩	B-II	
397	地ノ島遺跡3号石棺	有田市	円	墳	箱式石棺	結晶片岩	B-II	末永・網干1965、中 村1971
398	箱谷3号墳	川辺町	円	墳	横穴式石室	緑泥石片岩	C-V	小賀1984
399	天神山古墳	湯浅町	-	墳	箱式石棺	緑泥石片岩	B-II	巽1962
400	弁天山古墳 (向山4号墳)	日高町	円	墳	横穴式石室	緑泥石片岩	C-V	丹野2002

表3 畿内における結晶片岩使用古墳一覧表

凡例 柏原市古文研→柏原市古文化研究会、関西大考研室→関西大学考古学研究室、紀北文研→紀北文化研究会、京都大文博→京都大学文学部博物館、同志社大考研室→同志社大学考古学研究室、枚方市史編会→枚方市史編纂委員会、枚方市文研会→枚方市文化財研究調査会、和歌山市文体団→和歌山市文化体育振興事業団、和歌山県文研会→和歌山県文化財研究会、和歌山大考研会→和歌山大学考古学研究会、山口大人文考研室→山口大学人文学部考古学研究室

【参考文献】

- 有田市役所1974『有田市誌』有田市誌編纂委員会
- 有田市教育委員会1979『一本松古墳・宮原古墳』有田市文化財調査報告 第2集
- 池上幸雄1956『紀伊小倉古墳群概要』『はにわ』2
- 井馬好英1996『和歌山市内遺跡発掘調査概報—平成7年度—』和歌山市教育委員会
- 植田法彦1965『和歌山市井辺前山第36号古墳調査概報』
- 上村雅洋他1976『寺山古墳群分布調査概要』『埴輪』7
- 打田町役場1981『打田町史—資料編1』打田町史編纂委員会
- 梅原末治1917『塚原の群集墳と福井の海北塚』『考古学雑誌』第8巻第1号 日本考古学会
- 梅原末治1920『河内國小山城山古墳調査報告』『人類学雑誌』第35巻8~10号
- 梅原末治1937『摂津福井の海北塚古墳』『日本古文化研究所報告』4 日本古文化研究所
- 大野左千夫・大野嶺夫1978『背見山古墳発掘調査概要』『古代学研究』85 古代学研究会

大野左千夫・前田敬彦1989『園部円山古墳調査概報』園部円山古墳保存会

大野左千夫1990「鳴滝9号墳の発掘調査について」『和歌山地方史研究』和歌山地方史研究会

大野嶺夫1971「明楽山山塊の古墳群について」『古代学研究』62 古代学研究会

奥田 尚2002『石の考古学』学生社

奥田 尚2003「玉手山古墳群の石室材・石棺材」『玉手山古墳群の研究Ⅲ』柏原市教育委員会

海南市役所1978『海南市史－資料編1』海南市史編纂委員会

笠井保夫他1972「岩橋千塚大谷山4・5・6・39号古墳発掘調査概報」和歌山県教育委員会

柏原市古文化研究会1986『柏原市埋蔵文化財発掘調査概報1985年度』

堅田 直・原口正三・西谷 正・日代克己・北野耕平1967『弁天山古墳群の調査』大阪府文化財調査報告17 大阪府教育委員会

堅田 直1968『茨木市將軍山古墳石室移築報告』考古学シリーズ3 帝塚山大学考古学研究室

羯磨正信1971「和歌山県海南市山崎第1号古墳」『日本考古学年報』19 日本考古学協会

羯磨正信・中尾憲市1962「海南市室山第4号墳」『熊野路考古』1

羯磨正信1960「馬瀬古墳調査報告」『下津町郷土史研究』1

羯磨正信他1964『花山古墳』和歌山市教育委員会

関西大学考古学研究室1967『花山西部地区古墳』和歌山市教育委員会

関西大学考古学研究室1967『岩橋千塚』関西大学文学部考古学研究紀要 第2冊

関西大学考古学研究室1968『寺内59・60号墳調査報告付載吉礼砂羅之谷須恵器窯跡群調査報告』

関西大学考古学研究室1969『和歌山市晒山・総綱寺谷古墳群調査概報』和歌山市教育委員会

関西大学考古学研究室1972『和歌山市における古墳文化』和歌山市教育委員会

河上邦彦1995『後・終末期古墳の研究』雄山閣出版

金谷克己・生地亀三朗1955『紀伊の古墳』紀伊考古学研究会

金谷克己1956『紀伊の古墳2』紀伊考古学研究会

金谷克己1958「和歌山県橋本市陵山古墳」『日本考古学年報』7 日本考古学協会

金谷克己1959「和歌山県那賀郡船戸山古墳群」『日本考古学年報』8 日本考古学協会

金谷克己1961a「和歌山市東国山古墳群」『日本考古学年報』9 日本考古学協会

金谷克己1961b「和歌山市明楽山古墳群」『日本考古学年報』9 日本考古学協会

川端敬司1956「寺山古墳群概要」『はにわ』2

貴志川町1981『貴志川町史』第3巻史料編2 貴志川町史編集委員会

紀北文化研究会1949『那賀郡東貴志村北南平第1号古墳発掘報告』

京都大学文学部博物館『紫金山古墳と石山古墳』京都大学文学部考古学研究室

九度山町2003『改訂九度山町史 史料編』九度山町史編集委員会

神戸市教育委員会1995『西求女塚古墳－第5次・第7次発掘調査概報－』

小賀直樹・藤井保夫1973「栗勝寺1号墳」『日本考古学年報』24 日本考古学協会

小賀直樹1984『箱谷古墳群－昭和58年度発掘調査概報－』川辺町教育委員会

小林行雄1956「茨木市將軍山古墳調査概要」『日本考古学協会第17回総会研究発表要旨』日本考古学協会

下津町役場1974『下津町史－資料編上－』下津町史編纂委員会

末永政雄・網干善教1965「紀伊有田地の島遺跡の調査」『有田市文化財調査報告』1

高槻市教育委員会2002『關鷄山古墳－第1次調査概要報告書－』

武内雅人1992『山東22号墳』(財)和歌山県文化財センター

武内雅人・藤井幸司2000『岩橋千塚周辺古墳群緊急確認調査報告書』和歌山県教育委員会

巽 三郎1962「和歌山県下の形象埴輪に就いて」『熊野路考古』1・2
 田辺昭三1969『紀の川用水水路予定地内遺跡分布調査』和歌山市教育委員会
 丹野 拓2002『和歌山県日高郡日高町所在県指定史跡弁天山古墳(向山4号墳)』日高町文化財調査会
 丹野 拓2003『磯の浦古墳群』(財)和歌山県文化財センター
 同志社大学考古学研究室1989『和歌山市木ノ本釜山(木ノ本Ⅲ)遺跡発掘調査報告書』
 富加見泰彦他2003『西庄遺跡』(財)和歌山県文化財センター
 中尾憲市1968「和歌山市室山古墳」『日本考古学年報』16 日本考古学協会
 中村貞史1971『地の島遺跡発掘調査概報』和歌山県教育委員会
 西谷眞治1985『元稲荷古墳』西谷眞治先生還暦祝賀会
 初島町教育委員会1962『初島町誌』初島町誌編纂委員会
 花山古墳緊急発掘調査団1964『花山古墳緊急調査報告書』和歌山市教育委員会
 樋口隆康・吉本堯1966「和歌山鳴滝団地古墳群発掘概報」『史林』49巻1号 史学研究会
 枚方市史編纂委員会1968『枚方市史』第6巻
 枚方市文化財研究調査会・枚方市教育委員会『牧野車塚古墳第2次調査・小倉東遺跡第32次調査現地説明会資料』
 藤井幸司2004「平池古墳群の発掘調査」『(財)和歌山県文化財センター年報2003』(財)和歌山県文化財センター
 藤丸詔一郎1973「葉勝寺南山2号墳」『日本考古学年報』24 日本考古学協会
 藤藪勝則2002「西庄遺跡第2次調査」『和歌山市内遺跡発掘調査概報—平成12年度—』和歌山市教育委員会
 前田敬彦他1993『車駕之古址古墳発掘調査概報』和歌山市教育委員会
 前田敬彦・上田耕司・阿部 真1999「海南市柿本神社古墳の測量調査報告—石障を有する横穴式石室の一例—」『紀伊考古学研究』第2号
 紀伊考古学研究会
 前田敬彦2003「和歌山市栄谷所在「貴志古墳」の出土遺物について」『和歌山市立博物館研究紀要』17 和歌山市立博物館
 水野正好1983『森古墳群発掘調査概要』交野市教育委員会
 向日市教育委員会1988『物集女車塚』向日市埋蔵文化財調査報告書 第23集
 森 浩一・田中英夫1960「和歌山県百合山古墳群調査概要」『古代学研究』24 古代学研究会
 森 浩一1973『雨が谷古墳群調査報告書』同志社大学考古学研究室
 山口大学人文学部考古学研究室1990『京都府平尾城山古墳』山口大学人文学部考古学研究室研究報告 第6集
 吉田宣夫1975「船戸山6号墳発掘調査概報」『きのくに文化財』9 和歌山県文化財研究会
 吉田宣夫1981「那賀郡打田町所在竹房古墳群の調査」『和歌山県埋蔵文化財情報』No15 (社)和歌山県文化財研究会
 和歌山県1930『和歌山県史蹟名勝天然念物調査会報告書』9
 和歌山県1983『和歌山県史 考古資料』和歌山県史編さん委員会
 和歌山県教育委員会1970「教明寺第Ⅰ号墳・第Ⅱ号墳」『近畿自動車道和歌山線関係遺跡第1次発掘調査概報』
 和歌山県教育委員会1987「和歌山市所在井辺前山古墳群とその関連遺跡」広域遺跡群詳細分布調査1
 和歌山県文化財研究会1973a『鳴滝古墳群緊急発掘調査現地説明会資料』
 和歌山県文化財研究会1973b『大谷山古墳群現地説明会資料』
 和歌山県文化財研究会1974「船戸箱山古墳緊急発掘調査」『きのくに文化財』8
 和歌山県文化財研究会1978『山崎山古墳群緊急発掘調査報告書』和歌山県教育委員会
 和歌山県文化財研究会1979「山崎山古墳群緊急調査の概要」『和歌山県埋蔵文化財情報』No14
 和歌山市教育委員会1978『和歌山市文化財総合調査報告書1』
 和歌山市教育委員会・(財)和歌山市文化体育振興事業団2004『和坂古墳群現地説明会資料』
 和歌山市文化体育振興事業団1996『和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報3』

和歌山市文化体育振興事業団1997『和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報4—平成6(1994)年度—』

和歌山大学考古学研究会1958『紀伊高尾山古墳』

和歌山大学考古学研究会1973「上野山古墳調査報告」『埴輪』9

和歌山大学考古学研究会1974「伊太祈曾古墳測量調査報告」『埴輪』10